

FHD見張隊 pro

取扱説明書



目次

1. はじめに	4
1-1. 各部名称	9
1-2. ログイン方法	9
1-3. マウス操作	10
1-4. 箱の中身について	10
2. 設置	11
2-1. 接続イメージ図	11
2-2. 設置手順	12
3. 初期設定	13
4. プレビュー	15
4-1. ステータスアイコン	15
4-2. ウィンドウツールバーのプレビュー	16
4-3. ショートカットメニュー	17
4-4. ズーム	18
4-5. 映像の設定	18
4-6. プレビュー設定	19
5. チャンネル構成	20
5-1. チャンネル管理	20
5-1-1. IPカメラの追加	20
5-1-2. IPカメラの管理	22
5-2. OSDの設定	23
5-3. 画像の設定	23
5-4. プライバシーマスクの設定	24
6. 録画	25
6-1. 録画画質の設定	25
6-2. スケジュール録画	26
6-3. モーション検知録画	27
6-4. 手動録画	28
6-5. 録画タイプ	29
6-6. ディスク管理	29
7. 再生	30
7-1. インスタント再生	30
7-2. 再生ツールバー	30
7-3. カメラと日付から再生	31
7-4. コリドーモードで再生	32
7-5. タグ再生	32
7-5-1. タグの追加	32
7-5-2. タグによる再生方法	33
7-6. イベント再生	33
7-7. スマート検索で再生	34
7-8. 外部ファイルで再生	35
7-9. ファイル管理	36
7-9-1. 再生中にスナップショットを作成する	36
7-9-2. ファイルをロックする	36
8. バックアップ	37
8-1. 録画のバックアップ	37
8-1-1. 通常のバックアップ	37
8-1-2. ビデオクリップのバックアップ	38
8-2. 静止画のバックアップ	39
9. アラームの設定	40
9-1. モーション検知	40
9-2. 改ざん検知	40
9-3. ビデオロス	41
9-4. アラート	41
9-5. アラーム・トリガー・アクション	42
9-6. アーミングスケジュール	42
10. ネットワーク構成	43
10-1. 基本構成	43
10-2. PPPoE	43
10-3. P2P	43

10-4.	DDNS	44
10-5.	ポート	44
10-6.	ポートマッピング	45
10-7.	Eメール	46
10-8.	IP制御	46
11.	システム構成	47
11-1.	基本構成	47
11-2.	時刻設定	47
11-3.	DST設定	47
11-4.	ユーザー設定	48
12.	システムメンテナンス	49
12-1.	システム情報	49
12-2.	ネットワーク検出	50
12-3.	ログクエリ	51
12-4.	設定のインポート/エクスポート	52
12-5.	システム復旧	53
12-6.	自動メンテナンス	53
12-7.	システムのアップグレード	54
12-8.	S. M. A. R. T. 情報	54
13.	Webからの操作	55
13-1.	準備	55
13-2.	ログイン	55
13-3.	ライブページ	56
13-4.	再生ページ	57
13-5.	設定ページ	57
14.	シャットダウン	58
15.	仕様	59

1. はじめに

この取扱説明書（以下、本書）は、ネットワークカメラ 4 台分の映像を記録できる FHD 見張隊 pro（以下、本装置）を使用する方法について説明します。

●本製品の特長

- ・録画装置+カメラ 4 台のセット
- ・カンタン接続・インストールで使用可能
- ・パソコンのブラウザを通じて、映像のライブビューイングが可能
- ・4 チャンネル対応の HDD PoE 対応のネットワーク対応の録画装置
- ・200 万画素・IP66(防塵・防水保護等級)対応のネットワーク IR ミニカメラ

本書では、呼称を以下の通り定義いたします。

呼 称	意 味
カメラ (IP カメラ)	本装置に付属されているネットワークカメラを指します。
録画装置	ネットワークカメラ専用の制御記録装置 (本装置) を指します。
HDD	本装置内部に接続されているハードディスクドライブを指します。
ライブ映像	カメラから入力され、モニターに映し出されている映像を指します。 (録画された映像ではありません。)
録画	映像を録画装置の HDD に記録することを指します。
録画映像	HDD に録画されている映像を指します。
ビデオロス	映像信号が途切れたことを意味します。
モーション検知	映像に変化があった時 (例: 人が歩いている) に、それをトリガーとして、録画やアラームを鳴らすことができる機能を指します。

【メモ】

- ・本書は、パソコンの基本操作に習熟していることを前提にしています。
- ・設置作業は、監視カメラ、電気配線、およびネットワークの知識のある方が行ってください。特にネットワーク環境を変更する場合、ネットワークの知識のある方が行ってください。
- ・初期パスワードは、最初にログインするために用意されています。セキュリティを確保するために、最初のログイン後、すぐにパスワードを変更することをお勧めします。
また、パスワードを変更した場合、パスワードを忘れないように必ずメモをしておいてください。

●表示画面について

- ・システムのユーザーインターフェイス (UI) でグレー表示されている設定値等は、変更することはいけませんのでご注意ください。
- ・本書の図は、説明の目的だけのため、実際の表示とは多少異なる場合があります。ご了承ください。

●安全上の注意

本装置を操作する前に、本書をよくお読みください。

本装置は、精密機器であり、慎重な取り扱いが必要です。操作する際、使用者に身体的危害および機器の損傷を避けるために、すべての警告および注意に従ってください。

また、カメラを設置する際、設置する地域の条例やガイドラインに従って設置してください。

■表示の説明

誤った取り扱いをしたときに生じる危害、障害の程度を区分し説明します。



警告

この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「損傷を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

お願い

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できない、または、機能停止をまねく内容を示しています。

■図記号の説明

お守りいただく内容の種類を絵記号で区分し説明しています。



○記号は、してはいけないこと「禁止」を示します。



●記号は、しなければならないこと「指示」を示します。



△記号は、注意を促す内容を示します

■設置場所について



警告



●不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁への設置禁止

カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。



●壁面内の配線や配管（ガス管・水道管等）に注意

ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。



●湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●本装置は日本国内で使用する

本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因になります。

また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。



注意



- モルタル塗装部への設置
穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。



- 火気のそばへの設置禁止
本装置や電源ケーブルを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。
カバーや電源ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。



- 直射日光、高温の場所への設置禁止
直射日光の当たるところや、高温のところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災や故障の原因になることがあります。



- 油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止
調理台のそば等油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。



- 不安定な場所への設置禁止
ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。



- 重電機器・電磁波を発生する機器の近くへの設置禁止
業務用洗濯機、工作機械、電動機などの重電機器、電磁波の発生する機器の近くに設置しないでください。また、上記と同じ電源元から電源を供給しないでください。ノイズの影響を受けて異常が発生するおそれがあります。

お願い

- 本装置を正常にまた安全に使用していただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・ほこりが多い場所
 - ・極度に振動が激しい場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
 - ・極度に高温や低温になる場所
- 家電機器 (AV 機器/調理機器/空調機器など) から離して設置してください。
特にテレビ等のリモコンを本装置に近くで操作すると、誤動作するおそれがあります。

■使用について

(1) こんなときは



警告



- 発煙への対処
万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 水が装置内部に入った場合の対処
万一、内部に水が入った場合は、すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いて、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源アダプタ、電源コードが傷んだ場合の対処
電源アダプタ、電源コードが傷んだ状態 (芯線の露出・断線等) のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いてご購入店か弊社に修理をご依頼ください。

(2) 電源について



警告



●家庭用電源以外の禁止

AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●電源アダプタ・電源コード

専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



●電源アダプタ・電源コードの取扱注意

電源アダプタ・電源コードを傷つけたり、分解したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると損傷し、火災・感電の原因となります。



●ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



●たこ足配線の禁止

分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



注意



●電源コードの取扱注意

電源コードを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。コード部を引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●乗ることの禁止

本装置に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

(3) 禁止事項について



警告



●改造の禁止

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



●ぬらすことの禁止

本装置に水が入ったり、ぬらさぬようご注意ください。火災・感電の原因となります。

(4) その他のご注意



注意



●雷のときの注意

雷が激しいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。万一落雷があった場合、火災・感電の原因となることがあります。雷が発生した際は、感電のおそれがあるので、電源アダプタ、電源コードおよびLAN ケーブルに触れないようにしてください。



●電源ケーブルの清掃

コンセントとソケットの間のほこりは定期的に（半年に1回程度）に取り除いてください。放置しておくと、火災・感電の原因となることがあります。



●長期間ご使用にならないときの注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

●著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作権者の権利が保護されています。このした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的のみで行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」、「著作人権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本装置を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なお使いをこころがけていただきますようお願いいたします。

●プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、お客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

●セキュリティーについて

本装置をネットワークに接続する場合、必ずパスワードを設定してください。また、設定したパスワードは忘れないようにメモしてください。パスワードを設定しないと、映像が外部に流出するおそれがあります。

●免責事項について

- ・地震・雷・風水害などの天災および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・「取扱説明書」（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、一切責任を負いません。
- ・本書に記載されている付属品・ソフトウェア以外の機器の接続やソフトウェアの使用により、誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・事故や本装置の故障・修理・その他取り扱いによって、本装置に登録された設定データなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●内蔵ハードディスクを交換した場合

お客様が内蔵ハードディスクの交換を行った時点から、納品日からの1年間の無償保証対象外となりますので予めご了承ください。

●設置工事をご希望の場合

カメラ・録画装置の設置工事をご希望する場合、弊社までご連絡ください。（連絡先は、本書裏面に記載）

●設置工事をされる方へ

ノイズが発生するおそれがある環境（機器の使う）に設置する場合、必要に応じて次の対策も行ってください。

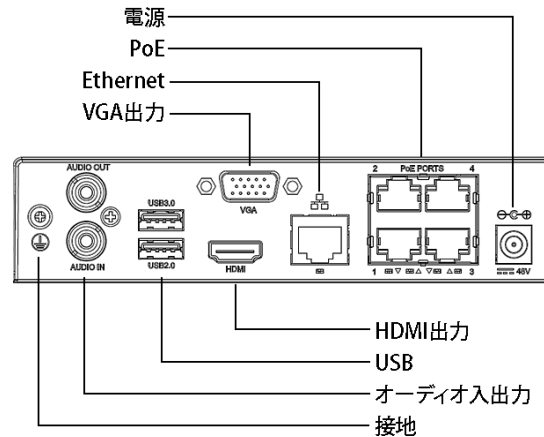
- ・シールド付き LAN ケーブルを使用してください。
- ・録画装置本体の裏面の接地端子（ネジ）からアースを取ってください。
- ・ケーブルにフェライトコアを取り付けて、ノイズを低減させてください。

●商標について

- ・Microsoft、Windows、Internet Explorer またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・Ethernet およびイーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・本書の中に記載されているその他の製品名、会社名は登録商標、または商標です。

1-1. 各部名称

● インターフェイス



※ 録画装置には電源スイッチはありません。電源を接続すると、電源が自動で入ります。

● LED 表示

LED	色	説明
	青色点灯	録画装置に電源が入っています。
	青色点灯	ネットワークに接続されています。
	青色点灯	クラウドサーバーに接続されています。
	赤色点滅	データの読み込みや書き込みを行っています。

1-2. ログイン方法

最初に電源を入れて使用する場合、または再生や設定の操作をするには、ログイン操作が必要です。

ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

初期パスワードとしてユーザー名：「admin」、パスワード：「123456」を入力します。

【ご注意】

- 初期パスワードは、最初にログインするために用意されています。セキュリティを確保するために、最初のログイン後、すぐにパスワードを変更することをお勧めします。
- また、パスワードを変更した場合、パスワードを忘れないように必ずメモをしておいてください。

また、パスワードが変更されていないと、ログイン操作時に次の画面が表示されます。

パスワードを変更しない場合は、[NO]をクリックします。

1-3. マウス操作

本書では、マウス操作を右手で行うことを前提に説明しています。

【メモ】

- ・特に指定しない限り、本書で説明されているすべての操作をマウスで実行します。
- ・本書では、マウスをクリックすると説明している場合、マウスの左ボタンを押す操作を示します。

名称	動作	説明
左ボタン	クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・項目の選択または確認 ・フィールド中の文字、記号、文字を編集する場合に選択
	ダブルクリック	<ul style="list-style-type: none"> ・プレビュー画面でフルスクリーンモードを終了
	ドラッグ	<ul style="list-style-type: none"> ・画面のドローまたは移動、モーション検知エリアの設定
右ボタン	クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートカットメニューの終了 ・ズームの終了 ・キャンセルまたは終了が表示された場合、現在のウインドウを終了
ホイール	スクロールアップ・ダウン	<ul style="list-style-type: none"> ・ウインドウのスクロールアップまたはスクロールダウン ・再生プログレスバーの操作

1-4. 箱の中身について

万一、不足や損傷しているものがあるときは、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社へご連絡ください。(連絡先は、本書裏面に記載)

			
カメラ×4 (ネジ、ステッカー、防水部材を含む)	LAN ケーブル (15m) × 4	LAN ケーブル (2m) × 1	録画装置 × 1
			
電源アダプタ × 1	マウス × 1	取扱説明書 × 1	

2. 設置

カメラを設置し、カメラと録画装置を接続します。

【メモ】

◆カメラと録画装置が接続できる距離(LAN ケーブルの長さ 15m)で設置できます。

LAN ケーブルの長さが足りない場合、お客様で LAN ケーブルや延長コネクタ等を準備してください。

◆お客様側で、モニターおよび VGA ケーブルを準備してください。

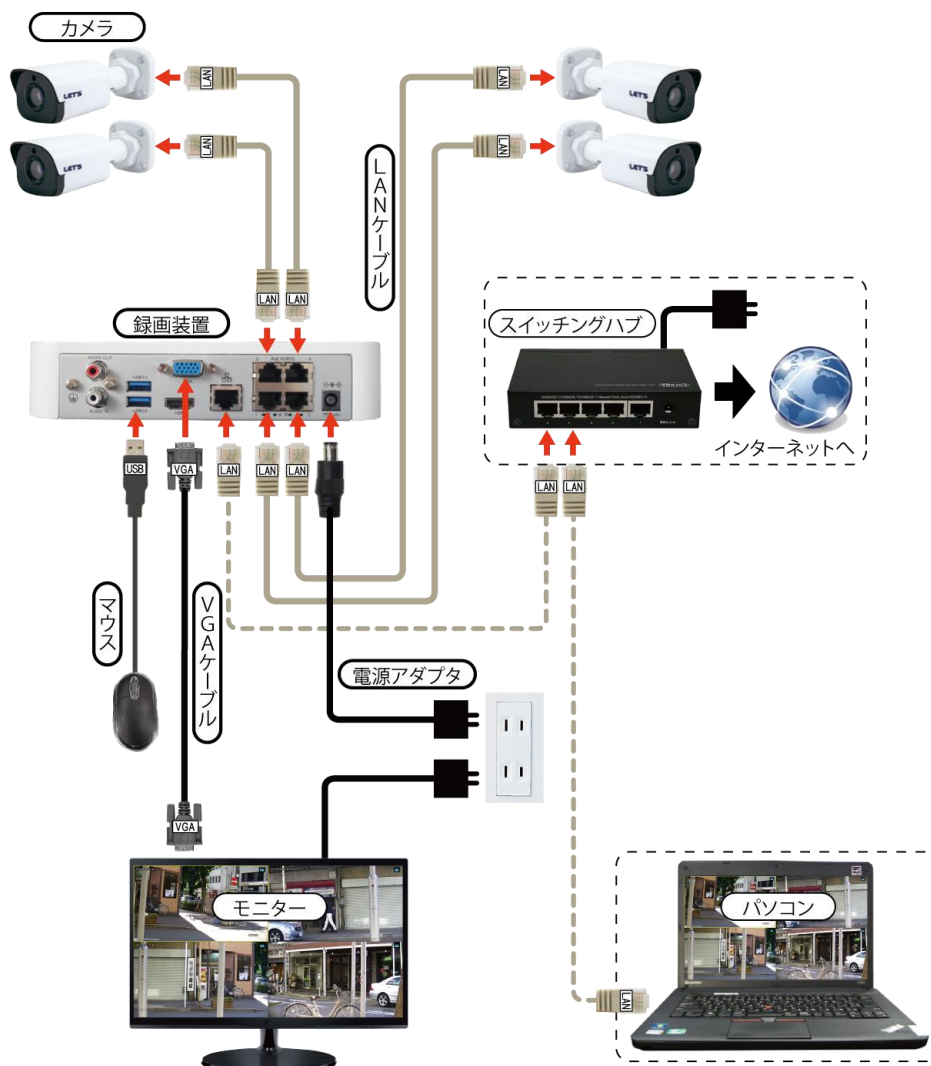
◆ネットワークに接続する場合、さらに以下の構成品も準備してください。

- ・スイッチングハブ
- ・パソコン
- ・パソコンへの接続する LAN ケーブル
- ・インターネット接続環境

※ネットワークに接続する場合、スイッチングハブ(ルーター)の LAN ケーブルは、イーサネット端子  に接続してください。

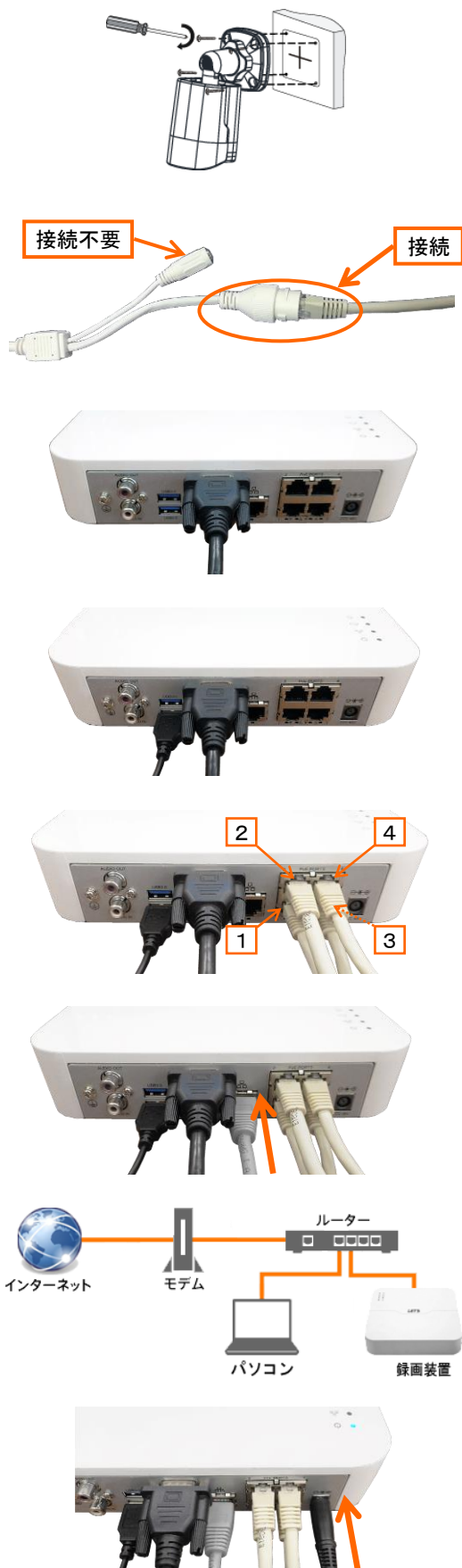
◆本装置は、ネットワークに接続しなくても使用できます。


2-1. 接続イメージ図



2-2. 設置手順

カメラの設置方法については、別紙「カメラ設置マニュアル」を参照してください。



1. カメラを設置します。
2. LAN ケーブル(15m)をカメラに接続します。
3. VGA ケーブルを録画装置とモニターに接続します。
4. マウスを録画装置の USB 端子(下側)に接続します。
5. カメラに接続した LAN ケーブルを、録画装置に接続します。
6. 【ネットワークに接続する場合】
録画装置のイーサネット端子に LAN ケーブル(2m)をネットワーク(スイッチングハブ)に接続します。
7. 【ネットワークに接続する場合】
パソコンを、ネットワークに接続します。
8. 電源アダプタを接続し、電源プラグをコンセントに接続することで、マーク横のランプが青色点灯し、電源が入ります。
※録画装置には、電源スイッチはありません。

3. 初期設定

本装置を接続し、最初に電源を入れたときに行う設定です。

1. 表示言語を設定します。「にほんご」を選択し、[OK]をクリックします。

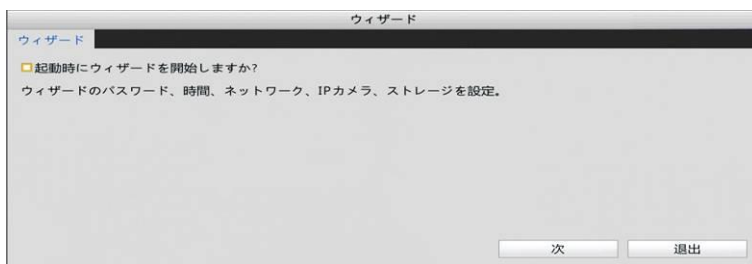


2. 通常は、✓を入れずに、[次]をクリックします。

ただし、スタートアップウィザードを有効にする場合は、✓を入れて[次]をクリックします。

✓を入れると、録画装置の起動するたびに、スタートアップウィザードの設定が表示されます。

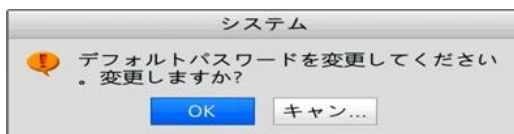
スタートアップウィザードは、[メニュー] > [システム] > [ベーシック情報]から、「立ち上げウィザード有効」を有効/無効で切り替えることができます。



3. 管理パスワードに「123456」と入力し、パスワードを変更する場合は、✓を入れて、新しいパスワードを設定し、[次]をクリックします。



また、パスワードを変更しない場合は、次の画面が表示されます。[OK]をクリックします。



【ご注意】

- ・初期パスワードは、最初にログインするために用意されています。セキュリティを確保するために、最初のログイン後、パスワードを変更することをお勧めします。
また、パスワードを変更した場合、パスワードを忘れないように必ずメモをしておいてください。

4. 時間帯を「GMT+09:00」を選択し、日付と時刻を設定します。
時刻の設定を確認し、[次]をクリックします。

5. 【ネットワークに接続する場合】

録画装置の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、または DHCP 有効を設定します。変更が必要でない限り、他のパラメータは、初期設定値のまま使用します。設定後、[次]をクリックします。

【ネットワークに接続しない場合】

何も変更せずに、[次]をクリックします。

6. IP カメラ (カメラ) の一覧が表示されます。

カメラ接続が追加されていることを確認し、[次]をクリックします。

選択	IPアドレス	状態	ナンバー	装置モデル	プロトコル	ポート
<input checked="" type="checkbox"/>	193.168.0.2	追加された	1	L-IPC-UN4C	私有	80
<input checked="" type="checkbox"/>	193.168.0.3	追加された	1	L-IPC-UN4C	私有	80
<input checked="" type="checkbox"/>	193.168.0.4	追加された	1	L-IPC-UN4C	私有	80
<input checked="" type="checkbox"/>	193.168.0.5	追加された	1	L-IPC-UN4C	私有	80

7. 録画スケジュールは、出荷時、全カメラに対して有効(✓)になっています。

必要に応じてカメラの録画方式を変更します。設定後、[OK]をクリックします。

この設定でスタートアップウィザードを終わります。

初期設定を終了し、接続したカメラの映像が表示されます。(プレビュー画面)

4. プレビュー

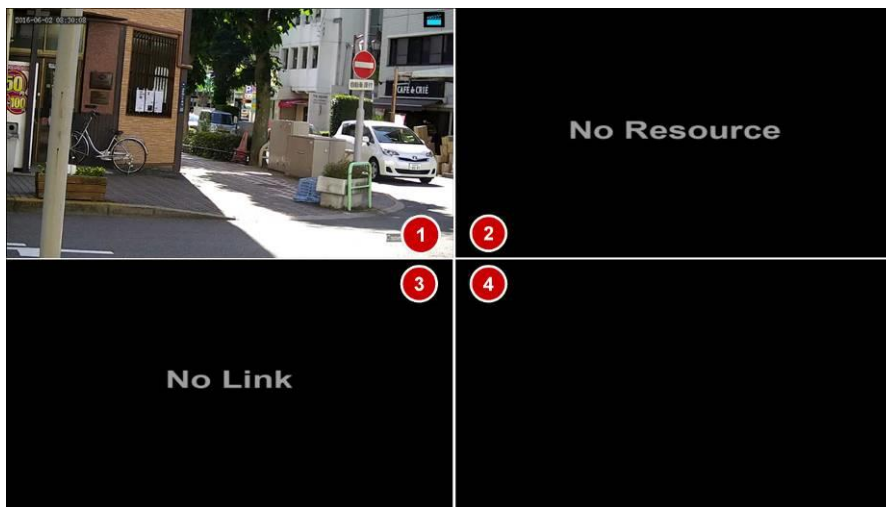
カメラのライブ映像を表示する画面です。

4-1. ステータスアイコン

プレビュー画面右上側に表示されるアイコンは、次の通りです。

アイコン	説明	アイコン	説明
	アラームです。		録画中です。
	モーション検知中です。		本装置では使用しません (双方向音声通話が有効です。)

通常、プレビュー画面が表示され、リンクされたカメラのライブ映像を表示します。

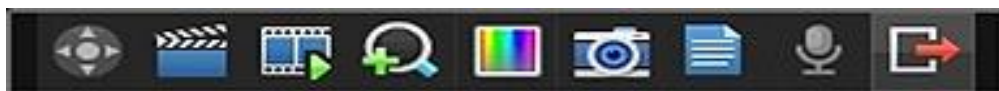














上図の様に、接続やリンクがない場合、次の図のように表示されます。

- ①ウインドウにリンクされているカメラはオンラインで、カメラからのライブ映像が表示されます。
- ②ウインドウにリンクされているカメラはオンラインですが、録画装置は、カメラから転送された映像データを符号化するのに容量が不足しています。
- ③ウインドウにリンクされているカメラがオフラインになっています。
- ④カメラは、ウインドウにリンクされていません。

4-2. ウィンドウツールバーのプレビュー


ツールバーには、プレビュー画面でクリックしたときに（下記参照）が表示されます。



ボタン	名称	説明
	PTZ コントロール	本装置では、使用しません。 (PTZ カメラの PTZ コントロールパネルを表示します。)
	マニュアル録画	ライブ映像の録画を開始する場合にクリックします。 録画開始すると、ボタンが  に変わります。 録音を停止する場合、  をクリックします。
	即時再生	直前に録画した 5 分 30 秒分の映像を再生する場合にクリックします。
	ズーム	映像の特定の領域を拡大する場合、クリックします。
	画像配置	映像の設定を調整する場合にクリックします。 [メニュー] > [カメラ] > [画像]からも設定できます。
	マニュアルキャプチャー	スナップショットを撮る場合にクリックします。 スナップショットの表示とバックアップは、[メニュー] > [Backup] > [画像]で行います。
	カメラ情報	このボタン上にマウスカーソルを置くと、映像の情報が確認できます。
	通話を始める	本装置では、使用しません。 (接続されているデバイスとの双方向の音声通話を開始する場合にクリックします。通話を止める場合、  をクリックします。)
	退出	ツールバーを終了する場合にクリックします。

4-3. ショートカットメニュー

プレビュー画面内で右クリックしたときに、ショートカットメニューが表示されます。

メニュー	説明	スクリーンショット
単画面	フルスクリーンでのライブ映像を表示するカメラを選択します。	
マルチウィンドウ	4画面表示を選択します。	
衝突(3画面)	様々なウィンドウの映像をコリドーモードで見るときにクリックします。 メモ：[メニュー] > [システム] > [プレビュー]をクリックして、「デフォルトレイアウト」ドロップダウンリストから目的のレイアウトを選択することができます。	
前のスクリーン 次のスクリーン	前または次の画面に切り替えます。	
オートスイッチ開始 オートスイッチ停止	自動切換えにより、1つまたは複数のプレビュー画面の開始または停止します。	
再生	再生ウィンドウを表示します。	
メニュー	メインメニューを表示します。	

● オートスイッチの動作例

オートスイッチは、画面レイアウト、ウィンドウ、リンクされたカメラ、および自動スイッチ間隔を設定する必要があります。

この例では、単画面のレイアウトに基づいて、4台のカメラのオートスイッチを設定する方法について説明します。

1. プレビュー画面内の任意の場所を右クリックし、[単画面]で最初に映すカメラ(IP Camara01)をクリックします。1番に接続した画面が表示されます。
2. ウィンドウウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、[オートスイッチ開始]をクリックします。オートスイッチが動作し、最初の映像に1番目のウィンドウが表示されます。そして設定された間隔で2番目のウィンドウが表示され、3番目、4番目の順にウィンドウが表示されます。




【メモ】

- ・オートスイッチの時間間隔は、初期値は8秒です。[メニュー] > [システム] > [プレビュー]から変更できます。

4-4. ズーム

この機能を使用すると、プレビュー画面内の映像の領域を拡大することができます。


1. 目的のプレビュー画面をクリックし、ツールバーの  をクリックします。
2. 右下の隅のウインドウで、マウスをクリック&ドラッグし、ズームインする領域を指定します。



3. ズーム操作を終える場合は、マウスを右クリックします。





4-5. 映像の設定

この機能を使うと、カメラから最適な画像をキャプチャする画像の設定を調整することができます。

1. 目的のプレビュー画面をクリックし、ツールバーの  をクリックします。



2. 適切なモードを選択し、設定を調整します。

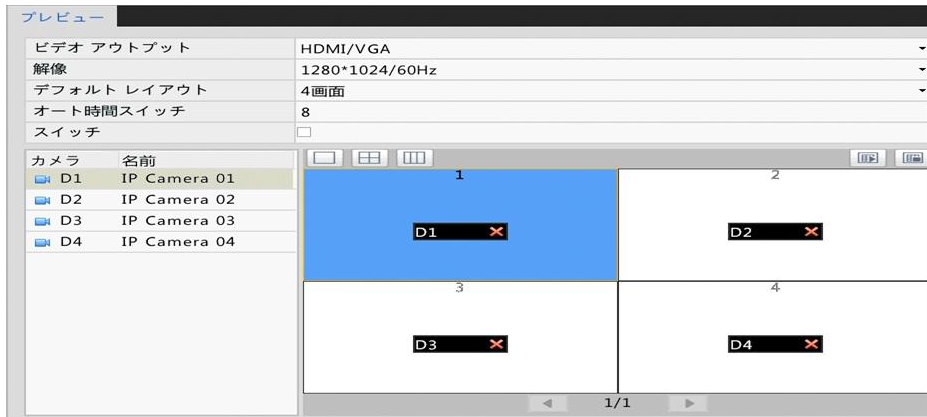
アイコン	意味	説明
—	モード	カメラの取付け位置「アウトドア」・「インドア」を選択します。
	コントラスト	画像の最も明るい(白色)の差と、最も暗い(黒色)部分の度合いを定義します。値を大きくするほどコントラストを向上させます。
	色相	画像の色の純度を設定します。
	彩度	色相の色の量を設定します。
	明るさ	画像の明るさを設定します。値を大きくするほど明るく見えます。




3. [OK]をクリックして、設定を保存し終了します。

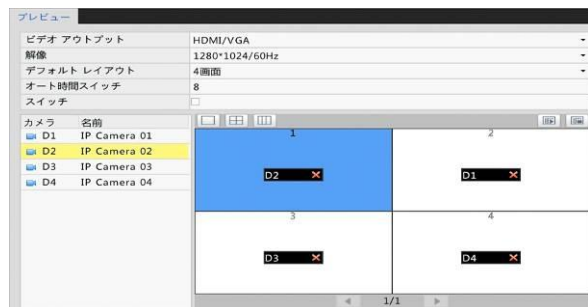
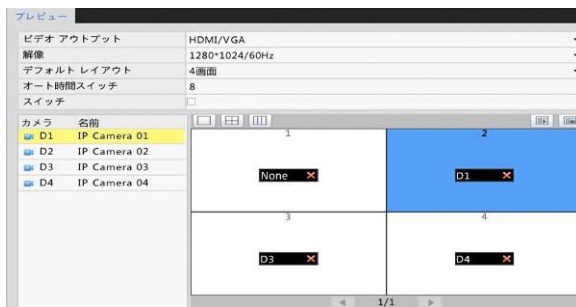
4-6. プレビュー設定

通常は、起動時のウィザードに従って、設定を完了した後、ライブ映像を表示することができます。プレビューの設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. [メニュー] > [システム] > [プレビュー]をクリックします。
2. 必要に応じて設定を変更します。例えば、ビデオ出力、解像度、デフォルトレイアウトなど。



3. ビューを設定します。目的のウィンドウに、カメラをリンクするためのビューを設定します。次の例では、D1 および D2 のカメラにリンクされているウィンドウを切り替える方法を説明します。
ステップ 1: 右側のウィンドウ 1 をクリックし、左側カメラ列の D2 の  をクリックします。
D2 がウィンドウ 1 に表示され、ウィンドウ 2 には表示されていません。
カメラ D1 のアイコンがグレー表示され、任意のプレビュー画面にリンクされていないカメラ D1 を意味し、 として表示されます。
ステップ 2: 右側のウィンドウ 2 をクリックし、左側カメラ列の D1 の  をクリックします。
D1 はウィンドウ 2 に表示され、カメラ D1、D2 はそれぞれのウィンドウにリンクされています。



4. [応用]をクリックし、設定を終了します。

5. チャンネル構成

カメラの各チャンネルに対して、表示設定を行います。

5-1. チャンネル管理

初期設定時に、録画装置に接続し IP カメラの追加を行うことができます。

通常は、初期設定を行えば IP カメラの登録がされているため、設定する必要はありません。

本書に記載されている IP カメラは、同梱されているカメラ（ネットワークカメラ）を指します。

通常は、「3-2. スタートアップウィザード」の設定により、自動に接続されます。

【ご注意】


- ・録画装置に IP カメラが接続されていることを確認します。


5-1-1. IP カメラの追加

IP カメラを最大 4 台まで接続する事が可能です。次に示す 2 通りの方法があります。

● 方法 1

【メモ】

- ・通常は、検出されたすべての IP カメラが追加され、デバイスが正常に追加されると、[状態]列に  表示されます。障害が発生した場合は、ネットワーク接続を確認し、IP カメラのユーザー名とパスワードが正常であるか確認してください。

また、IP カメラのユーザー名とパスワードを変更するには、  をクリックします。


1. [メニュー] > [カメラ] > [カメラ]をクリックします。



2. 自動的に検索を実行します。

[刷新]をクリックすることで、最新情報に更新・検索する事ができます。

指定されたネットワークセグメント上の IP カメラを検索するには、[検索]をクリックします。

3.  を押して IP アドレスを追加します。

- ・[ワンクリック追加]をクリックをすることで、検出された IP カメラを最大接続数まで追加することができます。

- ・[カスタム追加]をクリックして、設定を追加した後に行っていただくこと：

a) 検出された IP カメラを選択し、[追加]をクリックします。

b) その後、IP アドレスを含む各設定を行う場合は、[追加]をクリックします。

ナン...	IPアドレス	状態	カメラ数	モデル
1	193.168.0.2	追加された	1	L-IPC-UN4C
2	193.168.0.3	追加された	1	L-IPC-UN4C
3	193.168.0.4	追加された	1	L-IPC-UN4C
4	193.168.0.5	追加された	1	L-IPC-UN4C

カメラIP	193.168.0.2
プロトコル	私用
ポート	80
ユーザー名	admin
パスワード	*****
カメラ数	1

検索 追加 バック

● 方法2

【メモ】

- この方法は、PoE ポートまたはスイッチングポートを持つ録画装置（本装置）に適用されます。
- PoE ポートに対応するチャンネル又はスイッチングポートを削除することはできません。

1. PoE ポートまたはネットワークケーブルで録画装置のスイッチングポートに IP カメラを接続します。録画装置は自動的に IP カメラに接続します。
2. [メニュー] > [カメラ] > [カメラ]をクリックし、IP カメラの接続状態を確認してください。

カメラ	追加/削除	状態	IPアドレス	カメラID	編集	名前	アド...
<input type="checkbox"/> D1	—		193.168.0.2	1		IP Camera 01	
<input type="checkbox"/> D2	—		193.168.0.3	1		IP Camera 02	
<input type="checkbox"/> D3	—		193.168.0.4	1		IP Camera 03	
<input type="checkbox"/> D4	—		193.168.0.5	1		IP Camera 04	
		—	193.168.0.2	—	—	—	—
		—	193.168.0.3	—	—	—	—
		—	193.168.0.4	—	—	—	—
		—	193.168.0.5	—	—	—	—

刷新 検索 削除 ワンクリック追加 カスタム追加 バック

【メモ】


- ONVIF がオフラインを介してカメラを追加した場合、カメラの を手動でクリックし、モードを追加設定、ユーザー名とパスワードを変更します。
- PoE ポートからの電源出力が、PoE ポートに接続されたカメラの定格電力を下がっているまたは超えている場合、 は、[状態]列に表示されます。

5-1-2. IPカメラの管理

接続されているカメラの IP アドレスの確認・設定を行うことができます。

[メニュー] > [カメラ] > [カメラ]をクリックします。

● IPカメラの編集

チャンネルを編集するために選択し、 をクリックします。

必要に応じて設定を変更し、[OK]をクリックします。


編集	
モード追加	マニュアル
カメラIP	193 .168 .0 .2
プロトコル	私用
ポート	81
カメラID	1
ユーザー名	admin
パスワード	*****
伝送距離延長	<input type="checkbox"/>


OK キャンセル

【メモ】

- ・別の IP カメラへのチャンネルをリンクするには、目的の IP カメラに現在の IP アドレスを変更する必要があります。他の設定を変更し、[OK]をクリックします。

●アドバンスド(Advanced)機能を使用

アドバンスド機能は、主にオンライン ( を表示) である IP カメラの IP アドレスを変更するために使用され、民間のプロトコルを介して、録画装置に接続されているアドバンスド機能を使用します。

IP カメラの IP アドレスを変更するには、[アドバンスド]列のデバイス用の  をクリックし、その IP アドレスを変更します。必要に応じて他の設定を編集します。


アドバンスド	
カメラ	D1
IPv4アドレス	193 .168 .0 .2
IPv4サブネットマスク	255 .255 .255 .0
IPv4 デフォルトゲ...	193 .168 .0 .1



応用 キャンセル

【メモ】

- ・IP アドレスは、ウェブインタフェース上で修正することができます。

● IPカメラをアップグレード

本装置は、弊社からの指示がない限り実行しないでください。(プライベートプロトコルを介して接続された IP カメラ ( を表示) のみオンラインでアップグレードすることができます。)

- ・クラウドアップグレード：IP カメラを選択し、 をクリックします。確認メッセージが表示されます。アップグレードを開始するには、[OK]をクリックします。
- ・ローカルアップグレード：希望の IP カメラを選択し、 をクリックします。表示されたウィンドウで、USB ストレージデバイス内のアップグレードファイルを検索します。アップグレードを開始するには、[OK]をクリックします。

5-2. OSDの設定

オンスクリーンディスプレイ (OSD) は、例えば、日時、カメラ名、および監視場所のため、映像と一緒に表示したい文字を編集することができます。

1. [メニュー] > [カメラ] > [OSD]をクリックします。
2. 目的のカメラを選択し、カメラの名前を入力します。
3. OSD機能は希望の日付と時刻の形式を選択し、時間および/または名称の表示(✓で表示)が可能です。画面上の OSD 位置を変更するには、左側のプレビュー画面に表示される赤枠または緑枠をドラッグします。



4. 設定を完了し、[応用]をクリックします。

5-3. 画像の設定

接続されたカメラ画像の設定 (コントラストなど) を行うことができます。

1. [メニュー] > [カメラ] > [画像]をクリックします。



2. 目的のカメラを選択し、カメラの名前を入力します。目的のカメラを選択し、設定を調整するためのスライダーをドラッグします。

【メモ】

- 画像回転パラメータは、画像の向きを変更します。例えば、コリドーモードで使用します。画像を[90°CW]を選択することで、時計回りに90度回転させることができ、または[90°CCW]を選択することで、画像を90度反時計回りに回転させます。
- 変更した画像の設定は、ライブ映像と録画した映像の双方に適用されます。

3. 設定を完了し、[応用]をクリックします。

5-4. プライバシーマスクの設定

映像にたくない部分を、マスク処理(目隠し)することができます。

1. [メニュー] > [カメラ] > [私人マスク]をクリックします。
2. カメラを選択し、「プライバシーマスク有効」に✓を入れると、プライバシーマスクの領域を指定できます。マウスをドラッグして指定します。



【メモ】

- プライバシーマスクの領域は4箇所まで設定できます。[クリア]ボタンをクリックすると、同じ色のマスク領域をクリア（削除）します。

3. 設定を完了し、[応用]をクリックします。

6. 録画

初期設定を行ったら、録画を行うことができます。

6-1. 録画面質の設定

録画面質を設定します。

1. [メニュー] > [カメラ] > [符号化]をクリックします。

符号化	
カメラ	D1
ストレージモード	メインストリーム
映像フォーマット	1080P@30
ストリームタイプ	通常
画像圧縮	H264
解像	1920*1080(1080P)
ビットレートタイプ	CBR(constant bit rate)
ビットレート(Kbps)	4096
範囲	128~16384(Kbps)
フレームレート(fps)	30
画質	最上
1フレーム間隔	60
1フレーム範囲	10~250

2. 使用するカメラとストリームタイプを選択し、その後その他の設定を行います。

3つのストリームタイプが用意されています。

- 通常：予約録画が行えます。
- イベント：モーション検知録画で設定録画が行われた動画に対して手動録画や録音がされます。イベント録画のエンコード設定も手動録画に適用されます。
- サブストリーム：モバイルデバイスのローカル監視や遠隔監視が行えます。低解像度で録画されません。ネットワークに接続した場合のみ使用できます。

【メモ】

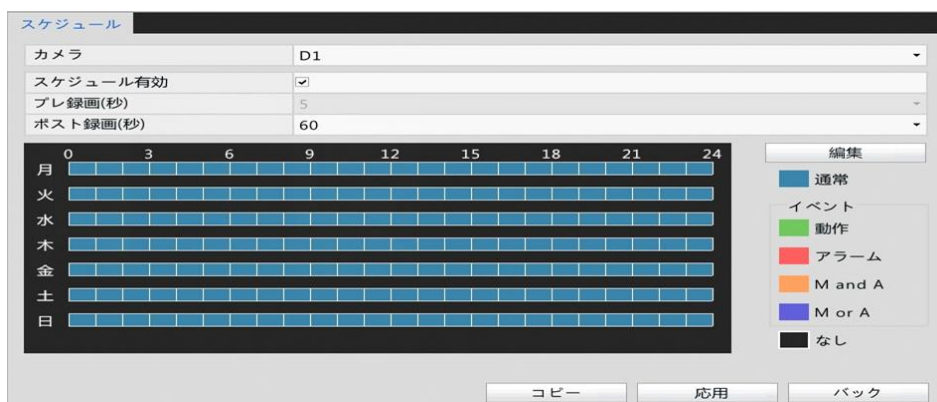
- ストリームタイプは、初期状態では、[通常]が設定されています。[イベント]を選択するには、[ストリームタイプ]のドロップダウンリストから、[イベント]を選択します。
- ビットレートタイプは、固定ビットレート(CBR)と可変ビットレート(VBR)が選択できます。[ビットレートタイプ]が[VBR]に設定されている場合のみ画質が調整可能です。
- このウインドウに表示されるパラメータとオプションは、カメラにより異なる場合があります。

3. [応用]をクリックし、設定を保存します。

6-2. スケジュール録画

スケジュール録画の設定を説明します。この設定は、手動録画とアラーム録画とは異なります。24(時間)×7(日)録画スケジュールは、初期設定では有効になっており、設定に従い録画を行います。必要に応じて、録画スケジュールを指定し、編集をすることができます。

1. [メニュー] > [ストレージ] > [録画]をクリックします。



2. 録画スケジュールを設定します。
 - a) [スケジュール有効]を選択し、目的のカメラを選択します。
 - b) [編集]をクリックします。
3. 必要に応じて、[タイプ]のドロップダウンリスト (複数可) から、[通常]を選択し、記録時間 (秒) を選択します。



【メモ】

- 初期設定では[終日]が選択されます。チェックボックスをオフにすると、最大8パターンの時間帯が設定可能です。
- スケジュール録画方法にも初期値(通常)があります。通常以外の設定を選択する場合は、各時間帯に録画方法(タイプ)を変更できます。
- 他の曜日 (複数選択可能) にスケジュールを適用するには、コピー先の曜日(複数可)に、チェックボックス[✓]を入れてください。
- [M and A]は、モーション(動作)とアラームの両方の検知で録画することを意味します。
- [M or A]は、モーション(動作)またはアラームのいずれかの検知で録画することを意味します。

4. 設定を完了したら、[OK]をクリックします。
他のカメラに設定を適用する場合、該当のカメラを選択し、[コピー]をクリックします。

6-3. モーション検知録画

画面に動きを検出（モーション検知）した場合に録画する設定を行うことができます。

※モーション検知とは、映像データ（被写体）の変化を検知する機能です。

人または車両が動くと、映像データが変化するため、モーション検知したと判定します。


この動作は、樹木の揺れ、光、影の変化でも検知する場合があります。この場合、感度を調整します。

1. [メニュー] > [アラーム] > [動作]をクリックします。
2. カメラを選択し、モーション検知を有効にするには、有効のチェックボックス[✓]を入れます。



【メモ】

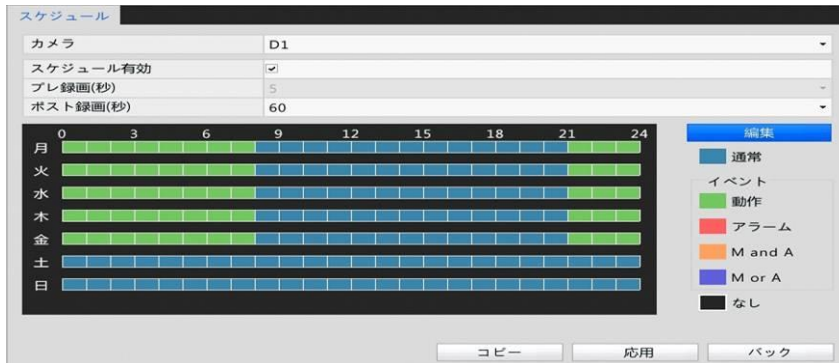
- ・初期設定では、モーション検知は無効になっています。
- ・モーション検知録画は、カメラ視野内で指定したエリアで動きがあった場合、そのタイミングをトリガーとして録画を開始する機能です。この機能は、トリガーアクションとして、録画を設定する必要があります。

3. モーション検知エリアを指定するには、マウスをドラッグして、エリアを指定します。
次に、スライダーをドラッグして、感度（右側ほど敏感に検知）を調整します。
4. モーション検知録画設定：トリガーアクション右側の  をクリックし、トリガーアクション画面内の[録画]タブをクリックします。



モーション検知録画を行うカメラを選択し、[OK]をクリックします。



- [メニュー] > [ストレージ] > [録画] から録画スケジュールを設定します。
 詳細な手順は、「6-2. スケジュール録画」を参照してください。
 イベントが、[動作]が設定されていることを確認してください。
 設定後、録画スケジュールは、システム内のスケジュール録画面で緑色に表示されます。
 下図に設定例を示します。



6-4. 手動録画

手動録画の方法は、2通りあります。

● 方法1

- 録画するプレビュー画面を指定し、ツールバーの  をクリックします。
録画を開始します。
- 停止する場合は  をクリックします。

● 方法2

[メニュー] > [マニュアル] > [録画]をクリックし、カメラを選択します。

- 録画を開始するには、[開始]をクリックします。



- 録画を停止するには、カメラを選択し、[停止]をクリックします。



6-5. 録画タイプ

録画タイプの種類は2種類あります：

- ・モーション検知及びアラームのトリガー録画とする場合 (M and A) :
モーション検知アラームとアラームが同時に発生した場合のみ、トリガー録画されます。
- ・モーション検知またはアラームのトリガー録画とする場合 (M or A) :
モーション検知アラームまたはアラームが発生したときに、記録がトリガーされます。

詳細は、「6-3. モーション検知録画」を参照してください。

6-6. ディスク管理

必ずハードディスクが正しく取り付けられていることを確認してください。

管理者(Admin)のみ、ハードディスクのフォーマットやプロパティの設定をすることができます。

1. [メニュー] > [ストレージ] > [ハードディスク]をクリックします。
[ハードディスク]タブは、総容量、空き容量、およびディスクの状態などが表示されます。



2. 次に示すハードディスクの管理を行うことができます。
 - a) ディスクのプロパティを設定する
 をクリックして、[読み取り/書き込み]または[読み取り専用]に切り替えることができます。
 - b) ハードディスクをフォーマットする
フォーマットするハードディスクの をクリックすると、[システム]ウインドウが表示されます。[Yes]をクリックすると、フォーマットを開始します。

注意


- ・ハードディスクのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されます。注意して行ってください。
- ・録画装置は、新しく設置したハードディスクは、自動的にフォーマットされます。

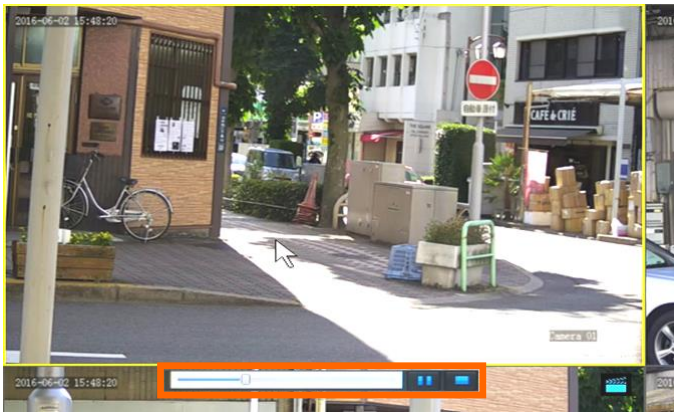
7. 再生

録画した映像を再生する方法を説明します。録画中でも再生することができます。

7-1. インスタント再生

インスタント再生機能は、プレビュー画面から直前に録画した5分30秒間の録画映像を再生する機能です。映像が出ない場合、この期間は、何も録画されていないことを意味します。

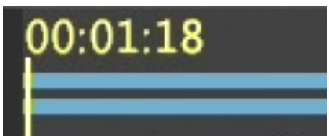





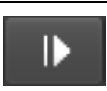
1. 目的のプレビュー画面をクリックし、インスタント再生を開始するには、ツールバーの  をクリックします。
2. スライダーをドラッグすると、再生する時間帯を操作できます。一時停止、再開もできます。










7-2. 再生ツールバー

再生画面で表示されるツールバーの説明をします。



ボタン	説明
	再生の進行状況を表示します。 再生開始した後、任意の時間帯を再生する場合は、スライダーをドラッグします。
	タイムラインを示します。
	タイムラインをズームアウト/ズームインします。
	再生/一時停止/停止します。
	30秒巻戻し/30秒早送りします。
	再生速度を遅くする/再生速度を速くします。
	コマ送りします。

	ビデオクリップを開始または停止します。
	スナップショットを撮ります。
	ファイルをロックします。
	デフォルトまたはカスタムでタグを追加します。
	ファイルを管理します。
	映像を拡大します。アイコンをクリックし、右下のウインドウで、マウスをクリック&ドラッグし、拡大する領域を指定します。ズーム操作を終える場合は、マウスを右クリックします。
	現在のウインドウの音量を調整します。

7-3. カメラと日付から再生

カメラ、日付で検索して録画を再生するには、次の方法で再生します。

1. マウスを右クリックし、[再生]を選択します。再生ウインドウが表示されます。
2. 目的のカメラを選択します。


【メモ】


- ・同期再生のために複数のカメラを選択することができます。[再生の最大カメラ数]をクリックすると、再生するカメラが録画装置で許可されているカメラの最大数(4台)を選択されます。


3. 再生したい日付欄をダブルクリックします。




【メモ】

- ・日付を選択して、その日に録画された映像の再生するためには、 をクリックしてください。
- ・カレンダーは、異なる録画状態を示すためのフラグを表示しています。

一般的な録画の場合、例えば  のようにカレンダー上の青いフラグが表示されます。

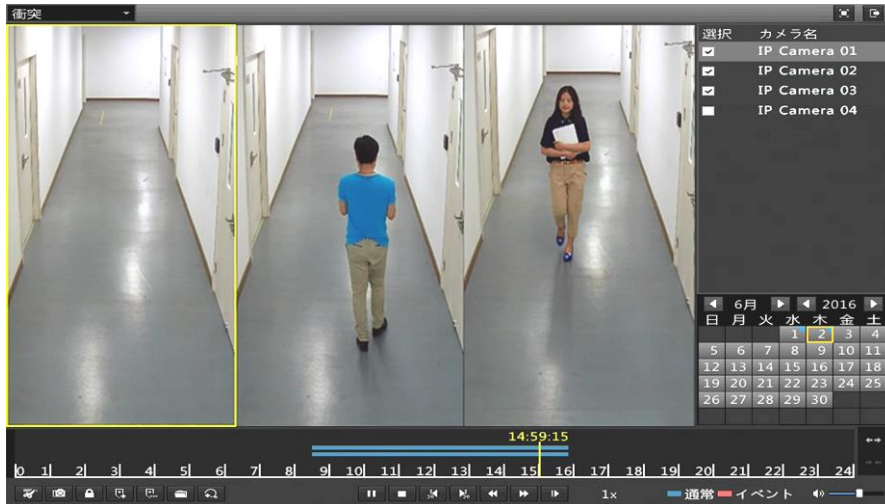
イベント録画の場合、例えば  のようにカレンダー上の赤いフラグが表示されます。

録画がされていない場合、例えば  のようにカレンダー上のフラグが表示されていません。

7-4. コリドーモードで再生

録画映像を、複数のウインドウを縦に並べて表示するコリドーモードで再生することができます。廊下等を撮影する場合に、このモードが適しています。



1. 再生ウインドウで、左上にあるドロップダウンリストから[衝突]を選択します。
2. 次に、再生するカメラを選択して、再生を開始したい日付をダブルクリックします。

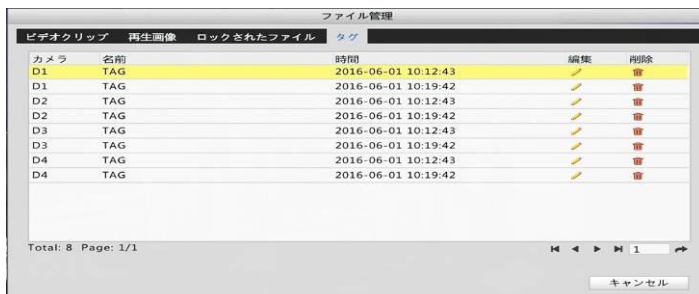


7-5. タグ再生


タグは、イベント名や場所などの情報を有する時間をマークするために使用されます。タグを使用すると、すぐに時間を見つけることができ、関連した録画を検索できます。

7-5-1. タグの追加

1. 右クリックし、[再生]を選択します。
2. 次のいずれかの方法を使用して、タグを追加します。
 - ・デフォルトの名前のタグを追加するには、 をクリックします。
 - ・カスタムタグを追加するには、 をクリックします。例えば、タグ名を「TAG1」に設定します。
3. タグの管理： をクリックして、タグの確認、編集、および削除することができます。



7-5-2. タグによる再生方法

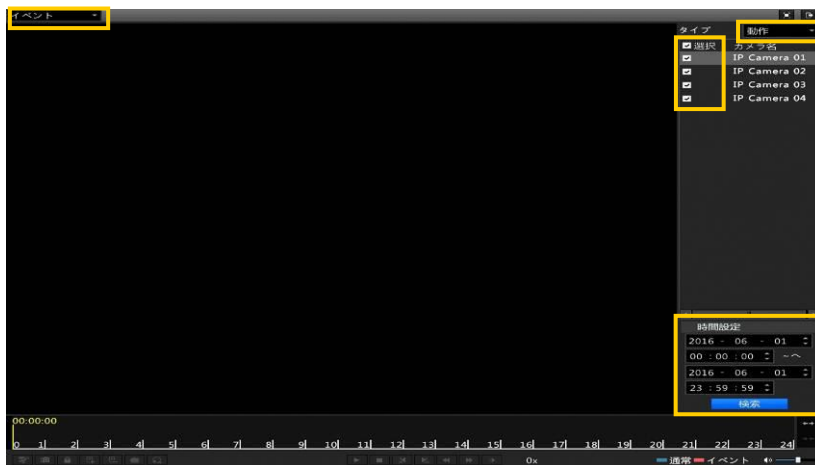
1. 再生ウインドウで、左上にあるドロップダウンリストから[タグ]を選択します。
2. 再生するカメラの選択と期間を設定し、[検索]をクリックします。
3. 再生を開始したいタグの  をクリックしてください。




7-6. イベント再生

録画したカメラと録画期間を指定に加え、イベントの種類を指定して検索し、再生することができます。

1. 再生ウインドウで、左上にあるドロップダウンリストから[イベント]を選択します。
2. 右上にあるドロップダウンリストから、再生するイベントの種類を選択します。(例えば、動作)
3. 再生するカメラの選択と期間を設定し、[検索]をクリックします。



4.  をクリックすると、指定の録画を再生します。




7-7. スマート検索で再生


この機能は、効率的に録画を確認する方法です。






スマート検索は、必要な録画シーンを自動で検出を行います。スマート検索により、必要な録画シーンが検出された場合、検索された箇所は、プログレスバーが緑色で強調表示され、通常で再生されます。そうでない箇所は、時間を節約するため映像を16倍速で再生されます。

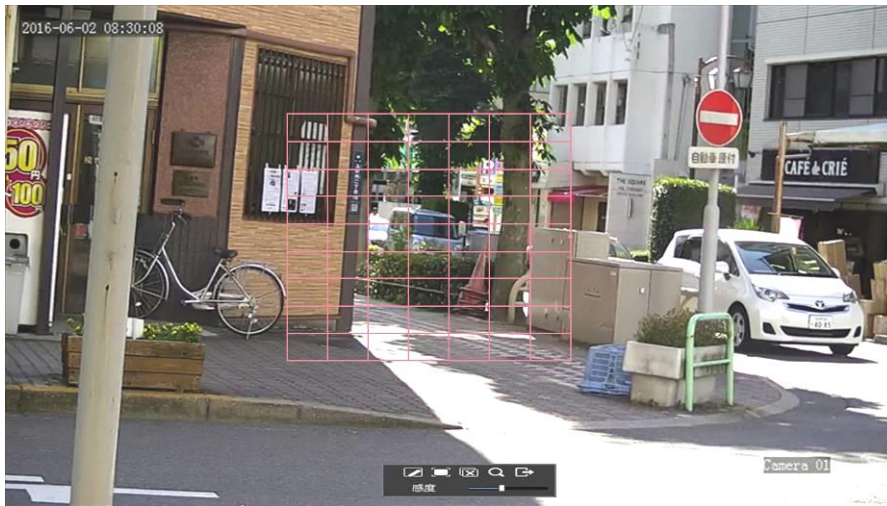
スマート検索モードは、モーション（動作）検知を検出しています。


1. 再生ウインドウで、左上にあるドロップダウンリストから[スマート]を選択します。
2. 再生するカメラの  をクリックして、スマート再生を開始します。



3.  をクリックして、スマート検索ウインドウが表示されます。デフォルトでは、フルスクリーンはスマート検索領域です。
4. スマート検索ルールを設定します。
次に、スマート検索のボタンを説明します。

ボタン	説明	ボタン	説明
	モーション検知の領域を設定します。		検索します。
	フルスクリーンでのモーション検知を検索します。		スマート検索ルールの画面を終了します。
	画面をクリアします。		検知感度を設定します。




5.  をクリックすると、開始します。

7-8. 外部ファイルで再生

USB メモリや外付けハードディスクなどの USB 記録媒体に保存された録画を再生するためには、この設定を使用します。

USB 記録媒体に保存する方法は、「8. バックアップ」を参照してください。



1. 再生ウィンドウで、左上にあるドロップダウンリストから[外部ファイル]を選択します。
2. [刷新]をクリックし、録画装置が USB 記録媒体を読み取ることを待ちます。
3. 目的の録画ファイルを選択し、 をクリックすると、再生を開始します。



7-9. ファイル管理

ファイル管理を使用すると、ビデオクリップ、タグ、再生中に撮影したスナップショットを管理します。また、ファイルをロックまたはロック解除することができます。

7-9-1. 再生中にスナップショットを作成する






1. 目的の画像のスナップショットを撮るためには、画面左下側の再生ウインドウの  をクリックします。
2. スナップショットを表示するには、 をクリックし、ファイル管理画面の[再生画像]タブをクリックします。
3. USB 記録媒体に保存する場合、目的の画像ファイル(複数可)を選択してから、[backup]をクリックし、保存先を選択後、[backup]をクリックすると、USB 記録媒体に保存できます。



【メモ】

- ・画像の解像度は、出力インターフェイスからの解像度と、スナップショットが取られたときに表示されるウインドウの数によって異なります。

7-9-2. ファイルをロックする

1. 再生ウインドウにロックする録画ファイルの  をクリックします。
2. ロックされたファイルを表示するには、 をクリックして、[ロックされたファイル]タブをクリックします。また、次の操作を行うことができます。
 - a) ファイルのロックを解除するには、 をクリックします。
 が " に変わると、ファイルのロックが解除されています。
 - b) ファイルをバックアップする場合、ファイルを選択し、[Backup]をクリックしてください。



8. バックアップ

録画されている映像を、USB 記録媒体 (USB メモリ等) にバックアップ (コピー) します。

8-1. 録画のバックアップ

外付け USB メモリを用いることにより、録画装置に記録された映像を外付け USB メモリに保存することができます。外付け USB メモリに保存するためには次の条件があります。

- ・外付け USB メモリに保存するためには FAT32 または NTFS ファイルシステムを有しており、正しく録画装置に接続されているか確認が必要です。
- ・メニュー画面に入るためには、パスワードが必要となります。
- ・バックアップを行っても、録画装置のハードディスクから録画映像が消えることはありません。
- ・バックアップしたファイルは、MP4 形式かつ H.264 コーデックに対応した動画再生ソフトで再生可能です。

【メモ】

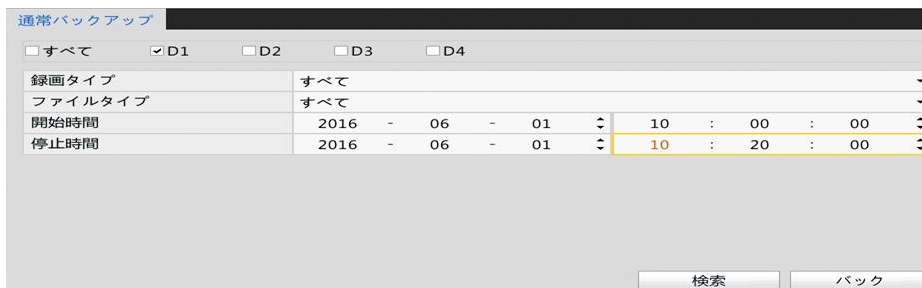
- ・デフォルトの録画ファイルは、MP4 形式でバックアップされます。

8-1-1. 通常のバックアップ

録画により生成されたファイルをバックアップします。

1. [メニュー] > [Backup] > [通常] をクリックします。

初期値では全てカメラがバックアップ対象になっています。

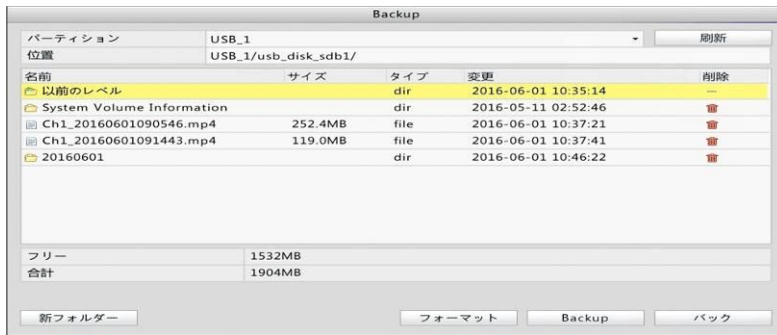


2. 検索条件を設定し、[検索] をクリックします。検索結果が表示されます。

このウインドウ内で、ステータスに表示されている [ロック] を解除することで、録画ファイルを再生することができます。



3. ファイル (複数可) を選択し、[Backup] をクリックします。
4. 外付け USB メモリ内の保存先を選択し、[Backup] をクリックすると、指定した保存先に録画映像がバックアップされます。






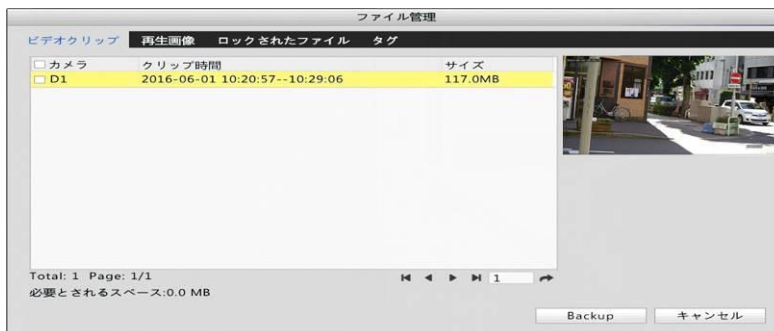
【メモ】

- [新フォルダ]をクリックすると、新しいフォルダを作成ができます。
- [フォーマット]をクリックすると、接続したUSBメモリを、FAT32形式でフォーマットすることができます。
- プログレスバー（例えば、エクスポート X / Y）の X は選択しているファイルサイズ、Y は録画の合計ファイルサイズ数を示します。操作をキャンセルするには、[キャンセル]をクリックしてください。
- バックアップファイルは、下記の形式で名前が付けられます。
 (例) Ch1-20160601090546.mp4
 ※ カメラチャンネル - 録画開始時間 .mp4 を意味します。

8-1-2. ビデオクリップのバックアップ

映像の切り出しが行えます。切り出した映像は外付けUSBメモリに保存できます。

1. メニューから[再生]を選択します。詳細は、「7. 再生」を参照してください。
2. 切り出しを行いたい映像を再生し、 をクリックし、切り出し開始ポジションを作成し、切り出し終了ポジションを設定するために再度  をクリックします。
3.  をクリックし、ファイル管理画面の[ビデオクリップ]タブをクリックすると、切り出した映像が表示されます。

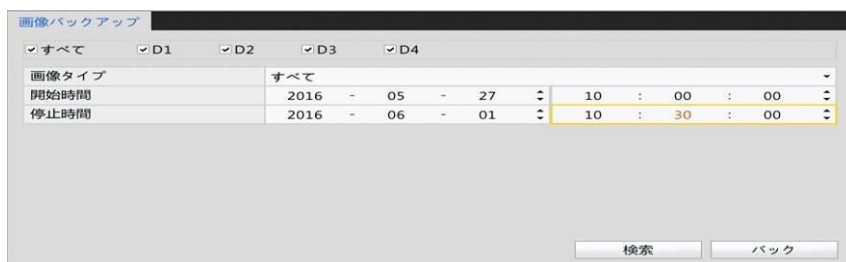


4. 切り出した映像を外付けUSBメモリに保存するには、切り出した映像をクリックし[Backup]をクリックします。
5. 外付けUSBメモリ内の保存先を指定したし、[Backup]をクリックすると、切り出した映像が指定した保存先に記録されます。

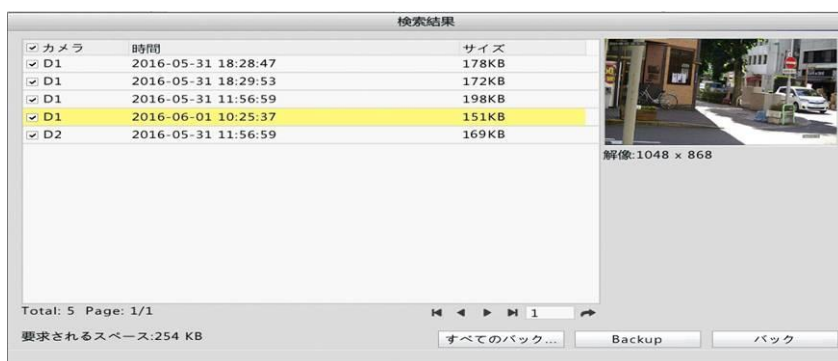
8-2. 静止面のバックアップ

デフォルトの静止画（スナップショット）のファイル形式は、JPEG 形式でバックアップされます。

1. [メニュー] > [Backup] > [画像]をクリックします。



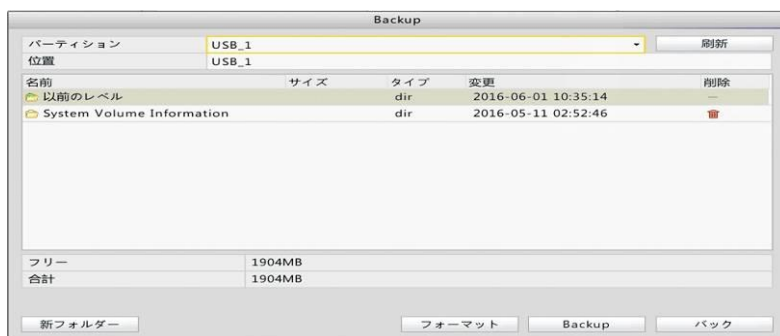
2. 検索条件を指定し、[検索]をクリックすると、検索結果が表示されます。



【メモ】

- 画像解像度は、スナップショットを撮る際のパソコンのウインドウ数と出力先の解像度に依存するため、必ずしもパソコンで表示される画質で保存されない場合があります。

3. ファイル（複数可）を選択し、[Backup]をクリックします。
4. USB メモリ内の保存先を選択し、[Backup]をクリックします。
選択したキャプチャが外付け USB メモリに保存されます。



9. アラームの設定

モーション検知（動作検知）によるアラームの設定を行うことができます。

9-1. モーション検知

検出領域内のオブジェクトが移動したとき、モーション検知アラームを発生させることができます。

【メモ】

- ・初期設定では、モーション検知は無効になっています。
- ・モーション検知録画は、カメラ視野内で指定したエリアで動きがあった場合、そのタイミングをトリガーとして録画を開始する機能です。この機能は、トリガーアクションとして、録画を設定する必要があります。

1. [メニュー] > [アラーム] > [動作]をクリックします。
2. カメラを選択し、有効にチェックボックス[✓]を入れます。





3. モーション検知エリアを指定するには、マウスをドラッグして、エリアを指定します。次に、スライダーをドラッグして、感度（右側ほど敏感に検知）を調整します。
4. トリガーアクションを設定するには、トリガーアクション右側の 🚨 をクリックします。詳細な設定方法は、「9-5. アラーム・トリガー・アクション」を参照してください。
5. 検知時間帯を変更する場合、アーミングスケジュール右側の 🚨 をクリックします。詳細な設定方法は、「9-6. アーミングスケジュール」を参照してください。
6. [応用]をクリックし、設定を完了します。

9-2. 改ざん検知

映像データの改ざん検知アラームが発生させることができます。



1. [メニュー] > [アラーム] > [改ざん]をクリックします。
2. カメラを選択し、改ざん検知を有効にするチェックボックス[✓]を入れます。





- トリガーアクションを設定するには、トリガーアクション右側の  をクリックします。
詳細な設定方法は、「9-5. アラーム・トリガー・アクション」を参照してください。
- 検知時間帯を変更する場合、アーミングスケジュール右側の  をクリックします。
詳細な設定方法は、「9-6. アーミングスケジュール」を参照してください。
- [応用]をクリックし、設定を完了します。

9-3. ビデオロス

録画装置は、カメラからの映像信号を失ったときに、ビデオロスのアラームが発生します。

- [メニュー] > [アラーム] > [ビデオロス]をクリックします。
- ビデオロスのアラームは、デフォルトでは、すべてのチャンネルが有効になっています。
無効にするには、 (緑色)をクリックします。 (赤色)に変わり、無効になります。

カメラ	状態	トリガーアクション	アーミングスケジュール
D1	 有効		
D2	 有効		
D3	 有効		
D4	 有効		

- トリガーアクションを設定するには、トリガーアクション右側の  をクリックします。
詳細な設定方法は、「9-5. アラーム・トリガー・アクション」を参照してください。
- 検知時間帯を変更する場合、アーミングスケジュール右側の  をクリックします。
詳細な設定方法は、「9-6. アーミングスケジュール」を参照してください。
- [応用]をクリックし、設定を完了します。

9-4. アラート

録画装置のシステムにイベントが発生した場合に、録画装置はアラート（警告）を出します。

次表に表示されるアラートを示します。

ストレージエラー	録画を失敗した。
ディスクオフライン	ハードディスクが正しく接続されていないか破損している。
ディスク異常	ディスクにアクセスすることができません。
不法アクセス	ユーザー一名が存在しないか、パスワードが正しくありません。
ネットワーク未接続	ネットワーク接続が切断された。
IP 衝突	ネットワーク上に同じ IP アドレスを使用されています。

アラートを設定するには、次の手順を実行します。

- [メニュー] > [アラーム] > [アラート]をクリックします。
- 設定するアラート動作に対し、[✓]を入れ、アラートタイプを選択してから、アラート出力を有効にするカメラ（複数可）を選択します。

アラート	
アラートタイプ	ストレージエラー
ブザー	<input type="checkbox"/> 有効
Eメール送信	<input type="checkbox"/> 有効

- [応用]をクリックし、設定を完了します。

9-5. アラーム・トリガー・アクション

アラームは、例えば、ブザー、録画、およびプレビューのアクションをトリガーにすることができます。使用できるトリガーアクションを、以下に示します。

タブをクリックして画面を切り替え、すべての設定を終えたら、[OK]をクリックします。



ブザー	ブザー音を出力します。ブザーに[✓]を入れます。
Eメール送信	指定された電子メールアドレスに、警告メッセージを送信します。 Eメールに[✓]を入れます。
録画	指定されたカメラからの映像を録画します。 [録画]タブをクリックし、録画するチャンネルを選択します。
プリセット	本装置では、使用しません。(PTZカメラを使用している場合、プリセット位置を指定します。)
プレビュー	録画装置は全画面表示でライブ映像を表示します。 [プレビュー]タブをクリックし、プレビューさせるチャンネルを選択します。
アラーム アウトプット	録画装置から外部接続機器へ、トリガーアクションのアラームを出力します。 [アラームアウトプット]タブをクリックし、[✓]を入れます。

9-6. アーミングスケジュール

アーミングスケジュールは、アラーム検知を有効にする時間帯を設定します。

通常は全チャンネル終日設定されています。

変更する場合は、アーミングスケジュール欄の  をクリックすると、下記の表が表示され、対象のカメラチャンネルに対して、曜日、時間帯を設定し、[OK]をクリックします。



【メモ】

- 初期設定では、全曜日の終日の時間帯が設定されています。
必要に応じて、最大8パターンの時間帯が設定可能です。期間を重複することはできません。
- 他の曜日に同じアーミングスケジュールを適用する場合、コピーする曜日を選択します。

10. ネットワーク構成

録画装置をネットワークに接続して動作させる場合、ネットワークの設定が必要です。

【メモ】 デフォルトの IP アドレスは、192.168.0.30 です。

10-1. 基本構成

IP アドレス等のネットワークパラメータを設定できます。

1. [メニュー] > [システム] > [ネットワーク] > [ベーシック情報]をクリックします。
2. 必要に応じて、ネットワークパラメータを設定します。

ベーシック情報	PPPoE	P2P	DDNS	ポート	ポートマッピング	Eメール	IP制御
NIC選択	NIC1						
DHCP有効	<input type="checkbox"/>						
IPv4アドレス	192.168.0.30						
IPv4サブネットマスク	255.255.255.0						
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1						
MAC アドレス	48:ea:63:21:85:0f						
MTU(バイト)	1500						
優先DNSサーバー	8.8.8.8						
代替DNSサーバー	8.8.4.4						
内部NIC IPv4アドレス	193.168.0.1						

3. [応用]をクリックし、設定を完了します。

【メモ】

- ・DHCP 有効にを入れると、録画装置は自動的に IP アドレスを取得（割り当て）します。

10-2. PPPoE

録画装置は、Point-to-Point over Ethernet(PPPoE)を介して、アクセスすることができます。

1. [メニュー] > [システム] > [ネットワーク] > [PPPoE]をクリックします。


ベーシック情報	PPPoE	P2P	DDNS	ポート	ポートマッピング	Eメール	IP制御
接続							
PPPoE	<input type="checkbox"/>						
ユーザー名							
パスワード							
IP情報							
アドレスコード							
サブネットマスク							
ゲートウェイ							

2. [PPPoE]を選択し、インターネットサービスプロバイダー（ISP）によって提供されたユーザー名とパスワードを入力します。ネットワーク情報は、ダイヤルアップ接続に成功した[IP 情報]の下に表示されます。
3. [応用]をクリックし、設定を完了します。

10-3. P2P

本機能（クラウドサービス）は使用しないでください。動作保証外の機能です。

ベーシック情報	PPPoE	P2P	DDNS	ポート	ポートマッピング	Eメール	IP制御
P2P有効	<input checked="" type="checkbox"/>						
ドメイン名	www.ez4view.com						
登録コード	30FBMNPVDJ7DAKAYIJO5OD1Z						
装置状態	オフライン:この装置は到達していません。ネットワーク設定(DNSサーバーアド...						



10-4. DDNS

録画装置が PPPoE を介してパブリックネットワークに接続する場合、録画装置にアクセスするにはダイナミック DNS (DDNS) を使用することができます。

IP アドレスにリンクされているドメイン名にアクセスし、Web クライアントを介して、録画装置にアクセスすることができます。

1. [メニュー] > [システム] > [ネットワーク] > [DDNS] をクリックします。
2. [DDNS 有効] の選択、[DDNS タイプ] を選択、またその他の設定を行います。

ベーシック情報	PPPoE	P2P	DDNS	ポート	ポートマッピング	Eメール	IP制御
DDNS有効			<input checked="" type="checkbox"/>				
DDNS タイプ			DynDNS				
サーバーアドレス			members.dyndns.org				
ポート			80				
ドメイン名							
ユーザー名							
パスワード							
確認							

【メモ】

- ドメイン名は、ドメイン名登録 Web サイトで正常に登録したものです。
- ユーザー名とパスワードは、ドメイン名登録 Web サイト（例えば、DynDNS）で登録しているアカウントです。

3. [応用] をクリックし、設定を完了します。

10-5. ポート

ポート番号を設定します。

1. [メニュー] > [システム] > [ネットワーク] > [ポート] をクリックします。
2. ポート番号を設定します。

ベーシック情報	PPPoE	P2P	DDNS	ポート	ポートマッピング	Eメール	IP制御
HTTPS ポート				80			
RTSP ポート				554			
メディアポート				7070			
SDKポート				6060			
HTTPS ポート				443			
ONVIF ポート				82			

【ご注意】

- 有効なポート番号は、1 から 65535 の範囲です。その中で 21、23、2000、3702、60000 は他の目的のために予約されていますので使用しないでください。
- 設定した各ポート番号は、他で使用されていないことを確認してください。

3. [応用] をクリックし、設定を完了します。

10-6. ポートマッピング

2つのポートマッピング方法（ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）と手動マッピング）を使用することができます。

UPnP は、ネットワーク上の他のデバイスを検出し、そのようなデータ共有や通信などのネットワークサービスを確立するために録画装置を可能にします。

ここでは、ポートマッピングのための UPnP を使用方法について説明します。

また、無効になった UPnP を使用して手動でポートマッピングを設定することもできます。

録画装置で UPnP を使用するには、録画装置が接続されているルータでの UPnP を有効にする必要があります。

UPnP はネットワークアドレス変換（NAT）のために有効にすると、録画装置上のポートは、ルータに自動的にマップすることができ、コンピュータは、LAN 外からあなたの録画装置にアクセスすることができます。

1. [メニュー] > [システム] > [ネットワーク] > [ポートマッピング]をクリックします。
2. UPnP は、デフォルトで有効になっています。ドロップダウンリストから目的のマッピングの種類を選択します。ポートを手動で設定する場合、[マニュアル]を選択し、ルータの外部ポートを設定します。



UPNP有効	<input checked="" type="checkbox"/>
マッピングタイプ	オート
HTTPS ポート	50080
RTSP ポート	50554
メディアポート	57070
SDKポート	56060
HTTPS ポート	50443
ONVIF ポート	50082

ポートタイプ	マッピングIP	外部ポート	内部ポート	状態
HTTPS ポート	N/A	N/A	80	未稼働
RTSP ポート	N/A	N/A	554	未稼働
メディアポート	N/A	N/A	7070	未稼働
SDKポート	N/A	N/A	6060	未稼働
HTTPS ポート	N/A	N/A	443	未稼働
ONVIF ポート	N/A	N/A	82	未稼働

3. [刷新]をクリックし、これらのポートの[状態]列に、[稼働]が表示されていることを確認してください。
4. [応用]をクリックし、設定を完了します。

10-7. Eメール

アラーム設定のトリガーアクションとして、アラーム発生時にEメール送信する場合、設定します。

1. [メニュー] > [システム] > [ネットワーク] > [Eメール]をクリックします。
2. 関連のパラメータを設定します。サーバー認証が必要な場合は、正しいユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

ベーシック情報	PPPoE	P2P	DDNS	ポート	ポートマッピング	Eメール	IP制御
サーバー認証						<input checked="" type="checkbox"/>	
ユーザー名						123456	
パスワード						*****	
SMTP サーバー						jp001	
SMTP ポート						25	
SSL有効						<input type="checkbox"/>	
送信者名						ABE	
送信者アドレス						abe@japan.jp	
受信者 選択						受信者1	
受信者名						TANAKA	
受信者アドレス						tanaka@japan.jp	

3. [テスト]をクリックします。テスト結果は、テストが成功または失敗に関係なく表示されます。失敗した場合には、設定を確認し、ネットワークの状態を確認してください。
4. [応用]をクリックし、設定を完了します。

10-8. IP制御

セキュリティを強化するために、特定のIPアドレスから録画装置へのアクセスを許可または禁止することができます。

1. [メニュー] > [システム] > [ネットワーク] > [IP制御]をクリックします。

ベーシック情報	PPPoE	P2P	DDNS	ポート	ポートマッピング	Eメール	IP制御
IP制御 有効							<input checked="" type="checkbox"/>
制御タイプ							ブラックリスト
IP開始							192.168.101.1
IP終了							192.168.101.255
<input type="button" value="追加"/>							
ナンバー	IP開始	IP終了	編集	削除			
1	192.168.101.1	192.168.101.255					

2. [制御タイプ]を選択し、ドロップダウンリストから、[ブラックリスト] (禁止) や[ホワイトリスト] (許可) を選択し、開始と終了のIPアドレスを設定し、[追加]をクリックします。
 - ブラックリスト：IPアドレス (複数可) からのリモートアクセスを拒否します。
 - ホワイトリスト：IPアドレス (複数可) からのリモートアクセスを可能にします。
 - ホワイトリストが指定されていないIPアドレスを使用して選択されている場合、録画装置へのリモートアクセスは拒否されます。
3. [応用]をクリックし、設定を完了します。

1 1. システム構成

録画装置のシステム設定を変更できます。

1 1-1. 基本構成

1. [メニュー] > [システム] > [ネットワーク]をクリックします。
2. パラメータを設定します。

ベーシック情報	
装置名	L-NVR-UN
装置ID	1
言語	にほんご
オーディオアウトプット有効	<input type="checkbox"/>
立ち上げウィザード有効	<input type="checkbox"/>
パスワード有効	<input checked="" type="checkbox"/>
オートログアウト(分)	5

3. [応用]をクリックし、設定を完了します。

【メモ】

- ・パスワードを有効にする設定[パスワード有効]を行うことができます。
- ・パスワードが無効の場合、録画装置にログインするパスワードは不要です。
ただし、ユーザー名とパスワードは、ログアウト後、再ログインするために必要です。

1 1-2. 時刻設定

1. [メニュー] > [システム] > [時間] > [時間]をクリックします。
2. タイムゾーン、日付と時刻の表示方法、および時刻を調整します。
3. ネットワークタイムプロトコル (NTP) を使用するには、[NTP 有効]のチェックボックス[✓]を入れ、NTP サーバーの IP アドレスとポート番号および更新間隔を設定します。

時間 DST	
時間帯	(GMT+09:00) ソウル(韓国)、東京、大阪、札幌
日付フォーマット	YYYY-MM-DD
時間フォーマット	24時間
システム時間	2016 - 06 - 01 11 : 52 : 05
NTP有効	<input type="checkbox"/>
NTPサーバー	0 .0 .0 .0
NTPポート	123
間隔(秒)アップデート	10

4. [応用]をクリックし、設定を完了します。

1 1-3. DST設定

サマータイムの設定です。設定不要です。[DST 有効]に、✓を入れないでください。

時間 DST	
DST有効	<input type="checkbox"/>
~	3月 - 第二 - 日 - 2
~^	11月 - 第一 - 日 - 2
DSTバイアス	60分

11-4. ユーザー設定

ユーザーグループは、システム内の操作権限を示します。

本装置では、3つのユーザータイプがあります。

管理者(admin)：管理者は、全ての操作権限が可能です。管理者の初期パスワードは123456です。

オペレーター(Operator)：オペレーターは、基本的な操作とカメラにアクセスすることが可能です。

ゲスト(Guest)：ゲストは、カメラへのアクセスすることのみ可能です。

また、管理者は、ユーザーの追加・削除・変更することが可能です。

1. [メイン] > [システム] > [ユーザー]をクリックします。



2. ユーザーグループを設定します。


● ユーザーの追加

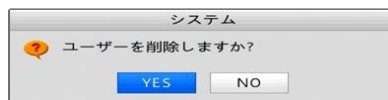
- a) [追加]をクリックします。


ユーザー名、パスワード、ユーザーグループおよび権限を設定します。

- b) 設定を完了したら、[OK]をクリックします。



- **ユーザーの削除**：  をクリックします。確認メッセージが表示されます。続行するには[Yes]をクリックします。



- **ユーザーの編集**：  をクリックします。パスワード、ユーザーグループ、およびアクセス権を変更することができます。変更を保存するには、[OK]をクリックします。

【メモ】

- ・新しいパスワードは、ユーザーが次回ログインする時に、有効（反映）になります。

1 2. システムメンテナンス

メンテナンスする場合、この章に書かれている内容を確認します。

1 2-1. システム情報

[メニュー] > [維持] > [システム情報]をクリックすると、メンテナンスするための情報を表示されます。

● システム情報

デバイスのモデル、シリアル番号、ファームウェアのバージョンなどの基本情報を表示します。

システム情報		カメラ	カメラ情報	録画	オンラインユーザー	ネットワーク	ディスク
ベーシック情報							
装置モデル	L-NVR-UN						
シリアルナンバー	210235T10G315B000044						
ファームウェアバージョン	B2312P37						

● カメラ

[カメラ]のタブをクリックすると、カメラの状態を表示します。

システム情報	カメラ	カメラ情報	録画	オンラインユーザー	ネットワーク	ディスク
カメラ	名前	状態	動作	改ざん	ビデオ	
D1	IP Camera 01	オンライン	オン	オフ	オン	
D2	IP Camera 02	オンライン	オフ	オフ	オン	
D3	IP Camera 03	オンライン	オフ	オフ	オン	
D4	IP Camera 04	オンライン	オフ	オフ	オン	

● カメラ情報

[カメラ情報]のタブをクリックすると、追加された IP カメラの情報を表示します。

システム情報	カメラ	カメラ情報	録画	オンラインユーザー	ネットワーク	ディスク
ナン...	カメラ	ベンダー	モデル	ファームウェアバージョン		
1	D1	LETS	L-IPC-UN4C	IPC_G6101_IN_Eng_LETS-B150601P03		
2	D3	LETS	L-IPC-UN4C	IPC_G6101_IN_Eng_LETS-B150601P03		
3	D2	LETS	L-IPC-UN4C	IPC_G6101_IN_Eng_LETS-B150601P03		
4	D4	LETS	L-IPC-UN4C	IPC_G6101_IN_Eng_LETS-B150601P03		

● 録画

[録画]のタブをクリックすると、録画状態やストリームの設定を表示します。

システム情報	カメラ	カメラ情報	録画	オンラインユーザー	ネットワーク	ディスク
カメラ	名前	タイプ	状態	診断	ストリームタイプ	フレーム
D1	IP Camera 01	マニュアル	録画中	通常	メインストリーム	30
D2	IP Camera 02	通常	録画中	通常	メインストリーム	30
D3	IP Camera 03	通常	録画中	通常	メインストリーム	30
D4	IP Camera 04	通常	録画中	通常	メインストリーム	30

● オンラインユーザー

[オンラインユーザー]のタブをクリックすると、現在ログインしているユーザーを表示します。

システム情報	カメラ	カメラ情報	録画	オンラインユーザー	ネットワーク	ディスク
ナンバー	ユーザー名	IPアドレス		ログイン時間		
1	admin	127.0.0.1		2016-06-01 12:17:55		
2	admin	221.113.48.205		2016-06-01 12:19:11		

● ネットワーク

[ネットワーク]のタブをクリックすると、ネットワークの設定を表示します。

システム情報	カメラ	カメラ情報	録画	オンラインユーザー	ネットワーク	ディスク
IP取得モード	固定					
IPv4アドレス	192.168.0.30					
IPv4サブネットマスク	255.255.255.0					
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1					
優先DNSサーバー	8.8.8.8					
代替DNSサーバー	8.8.4.4					
内部NIC IPv4アドレス	193.168.0.1					
PPPoE	オフ					
PPPoE アドレス	0.0.0.0					
PPPoE サブネットマスク	0.0.0.0					
PPPoE デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0					

● ディスク

[ディスク]のタブをクリックすると、ハードディスクの状態とディスクのプロパティを表示します。

ディスク...	総容量(GB)	空き容量(GB)	状態	ベンダー	プロパティ
1	931.50	826.58	通常	HGST	読み取り/書き...

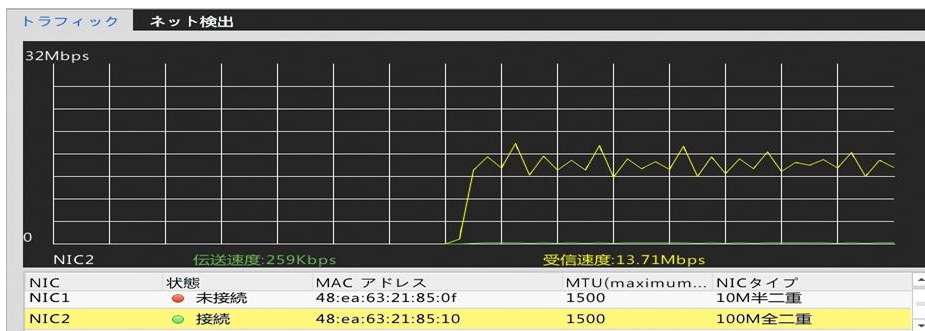
総容量(GB)	931.50
空き容量(GB)	826.58

1 2 - 2. ネットワーク検出

ネットワークの通信状態を表示します。

● トラフィック

[メニュー] > [維持] > [ネット検出]をクリックすると、ネットワークトラフィック情報を表示します。



● ネット検出

ネットワーク遅延やパケット損失率をテストするには、次の手順を実行します。

1. [メニュー] > [維持] > [ネット検出] > [ネット検出]をクリックします。
2. テストアドレスを入力し、[テスト]をクリックします。
 - ・テストが成功した場合、平均遅延およびパケット損失率を含むテスト結果が表示されます。
 - ・テストが失敗した場合、宛先が到達不能であることを示しています。

トラフィック ネット検出

ネットワーク遅延とパケットロステスト

テストアドレス: 192.168.0.100

テスト結果: 遅れ: 1.506ミリ秒, パケットロス: 0.000%

ネットワークパケット エクスポート

装置名: USB_1


ポート選択: すべて 指定された

IP選択: すべて 指定された

NIC	IPアドレス	エクスポート
NIC1	192.168.0.30	<input checked="" type="checkbox"/>
NIC2	193.168.0.1	<input checked="" type="checkbox"/>
ループバック	127.0.0.1	<input checked="" type="checkbox"/>

注釈: パケットはストレージ装置にルートディレクトリにエクスポートされる。

パケットのキャプチャまたは保存するには、次の手順に従います。

1. [メニュー] > [維持] > [ネット検出] > [ネット検出]をクリックします。
2. [装置名]にUSBメモリを選択し、ポート番号とIPアドレスを指定します。
3. パケットのキャプチャを開始したいNICの を、クリックします。
停止するには[キャンセル]をクリックします。

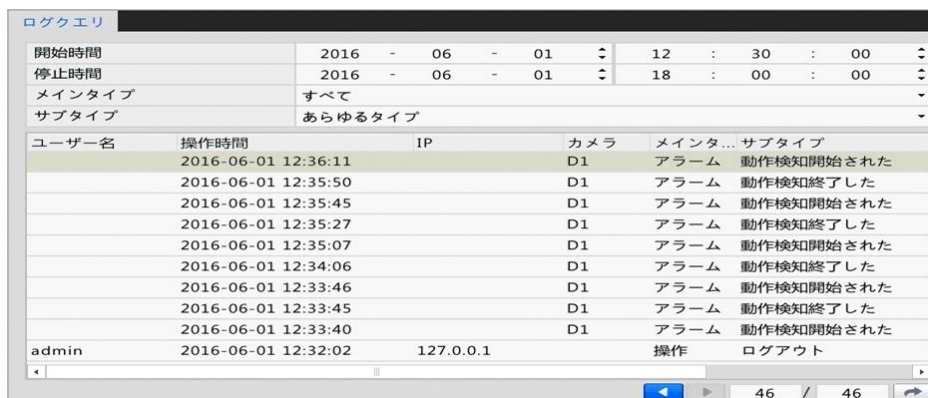
【メモ】

- キャプチャしたパケットのバックアップファイルは、“NIC名_時間.pcap”の形式で命名され、USBメモリのルートディレクトリに保存されます。
ファイルを表示するには、[オープン]をクリックしてください。

12-3. ログクエリ

ログは、ユーザーが実行する操作とデバイスのステータスに関する情報が含まれています。ログを分析することにより、デバイスの動作状態を追跡し、詳細なアラーム情報を表示することができます。

1. [メニュー] > [維持] > [ログ]をクリックします。
2. 検索する時間帯、検索条件を設定します。
3. 結果を表示する[クエリ]をクリックします。



The screenshot shows the 'ログクエリ' (Log Query) interface. It includes search filters for start and stop times, maintenance type, and sub-type. Below the filters is a table of log entries with columns for user name, operation time, IP, camera, maintenance type, and sub-type.

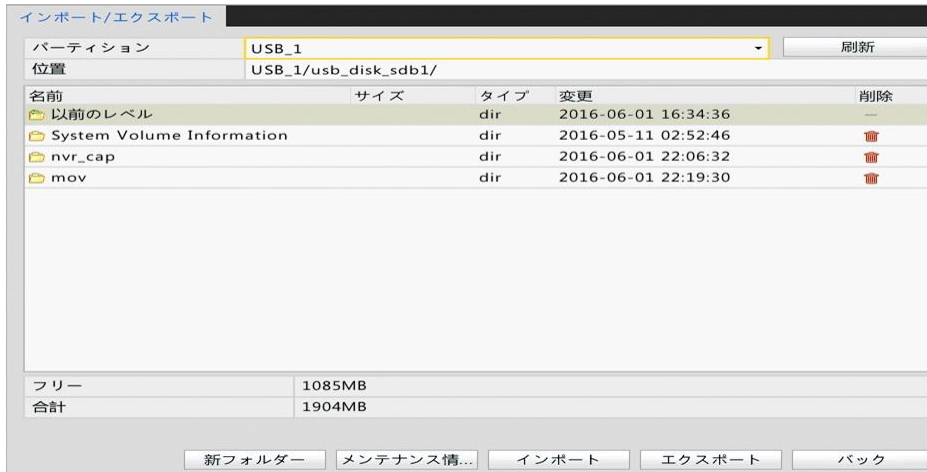
開始時間	2016 - 06 - 01	12 : 30 : 00			
停止時間	2016 - 06 - 01	18 : 00 : 00			
メインタイプ	すべて				
サブタイプ	あらゆるタイプ				
ユーザー名	操作時間	IP	カメラ	メインタ...	サブタイプ
	2016-06-01 12:36:11		D1	アラーム	動作検知開始された
	2016-06-01 12:35:50		D1	アラーム	動作検知終了した
	2016-06-01 12:35:45		D1	アラーム	動作検知開始された
	2016-06-01 12:35:27		D1	アラーム	動作検知終了した
	2016-06-01 12:35:07		D1	アラーム	動作検知開始された
	2016-06-01 12:34:06		D1	アラーム	動作検知終了した
	2016-06-01 12:33:46		D1	アラーム	動作検知開始された
	2016-06-01 12:33:45		D1	アラーム	動作検知終了した
	2016-06-01 12:33:40		D1	アラーム	動作検知開始された
admin	2016-06-01 12:32:02	127.0.0.1		操作	ログアウト

12-4. 設定のインポート/エクスポート

構成および保守情報は、記憶装置にエクスポートし、バックアップファイルとして保存できます。コンフィギュレーションファイルは、録画装置の設定を復元するために、インポートすることができます。

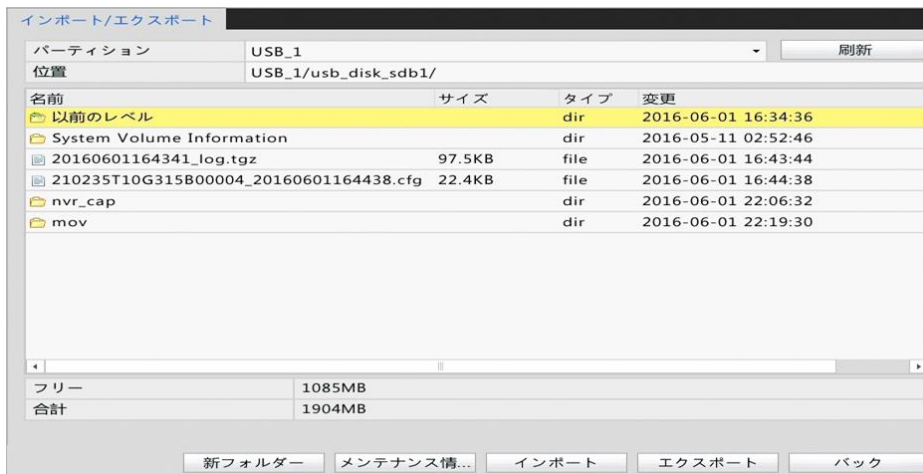
管理者のみがこれらの操作を行うことができます。

1. [メニュー] > [維持] > [Backup]をクリックします。



2. 設定をインポートまたはエクスポートします。

- デバイスの設定をエクスポートする場合は、[エクスポート]をクリックします。指定されたディレクトリに[`cfg`]ファイルが作成されます。
- 保守情報をエクスポートする場合は、[メンテナンス情報]をクリックします。エクスポートが完了すると、指定されたディレクトリに[`log.tgz`]ファイルが作成されます。



- デバイスの設定をインポートするには、[`cfg`]ファイルを含む目的のフォルダを、ダブルクリックして選択し、[インポート]をクリックします。

【ご注意】

- ファイルを削除するときは注意してください。削除した操作は戻すことができません。

12-5. システム復旧

工場出荷時のデフォルトに一部またはすべての設定を復元するには、この機能を使用します。

1. [メニュー] > [維持] > [回復]をクリックします。
2. 必要に応じて方法を選択します。
 - ・以下を除く、すべての設定を工場出荷時にリセットする場合、[デフォルト]をクリックします。
ネットワークの設定、ユーザー設定、時間設定
 - ・すべての設定を工場出荷時にリセットする場合、[出荷デフォルト]をクリックします。
3. 再起動を行うメッセージが表示されます。[OK]をクリックして続行します。

録画装置は、工場出荷時のデフォルト設定を復元するために、自動的に再起動します。



【メモ】

- ・録画装置での録画ファイル、操作ログは削除されません。

12-6. 自動メンテナンス

録画装置は、スケジュール通りに再起動し、必要に応じてファイルを削除する設定をします。

管理者のみがこの操作を実行できます。

1. [メニュー] > [維持] > [オート機能]をクリックします。
2. 「オート再起動」で、自動で再起動させる時間を設定します。
3. 「オートデリートファイル」で、自動的にファイルを削除する方法を選択します。
ネバー：HDDが一杯になったら、自動で古い録画データを削除し、上書きします。
日前：指定した日の録画データを削除します。



【ご注意】

- ・自動的に削除されたファイルを回復することはできません。

12-7. システムのアップグレード

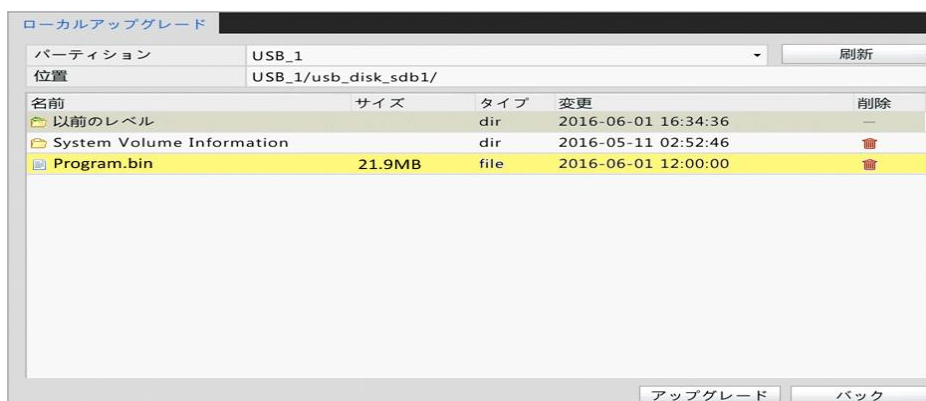
録画装置のシステムをアップグレードするオプションを選択します。

USB メモリに保存したアップグレードファイルを使用して、アップグレードします。

【ご注意】

- ・弊社または販売先から指示がない限り、この操作は行わないでください。
- ・アップグレード時に電源を遮断しないでください。
- ・アップグレードが完了すると、新しいシステムをロードするために自動的に再起動します。

1. [メイン] > [維持] > [アップグレード]をクリックします。
2. USB メモリのアップグレードファイルを選択し、[アップグレード]をクリックします。



12-8. S. M. A. R. T. 情報

録画装置は S. M. A. R. T. 情報（ハードディスクの自己診断情報）をサポートしています。そして、録画装置自身でハードディスクのヘッド、プラッタ、モーター、および回路の健康状態を評価し、確認することができます。

S.M.A.R.T.情報							
ディスク選択	スロット1						
ベンダー	HGST						
モデル	Hitachi HCS5C323ST20						
ディスク温度	52						
使用時間(日)	156						
評価	状況良好						
ID	属性名	状態	フラグ	許容量	評価	最悪	生の値
1	Raw_Read_Error_Rate	状況良好	0x000b	16	100	100	0
2	Throughput_Performance	状況良好	0x0005	54	100	100	0
3	Spin_Up_Time	状況良好	0x0007	24	125	125	12452050
4	Start_Stop_Count	状況良好	0x0012	0	100	100	56
5	Reallocated_Sector_Count	状況良好	0x0033	5	100	100	1
7	Seek_Error_Rate	状況良好	0x000b	67	100	100	0
8	Seek_Time_Performance	状況良好	0x0005	20	100	100	0
9	Power_On_Hours	状況良好	0x0012	0	100	100	3755
10	Spin_Retry_Count	状況良好	0x0013	60	100	100	0
12	Power_Cycle_Count	状況良好	0x0032	0	100	100	44
192	Power-Off_Retract_Count	状況良好	0x0032	0	100	100	209
193	Load_Cycle_Count	状況良好	0x0012	0	100	100	209

【メモ】

- ・評価ステータスは、[状態良好 (Healthy)]、[故障] (Failure)、[不良セクター] (Bad Sectors) です。
- ・評価ステータスが[故障 (Failure)] である場合、ハードディスクを交換することをお勧めします。販売店もしくは弊社まで問い合わせてください。

13. Webからの操作

本装置をネットワーク接続すると、パソコン上でライブ映像の確認、再生、および録画装置の設定ができます。

13-1. 準備

パソコンからスイッチングハブ等を介して録画装置に接続し、ログインする前に確認してください。

1. ネットワークに接続されている LAN ケーブルに接続、または無線 LAN の設定を行い、ネットワークに接続できる状態にします。
2. ログイン前に、次の項目を確認します。
 - ・パソコンとカメラ間のネットワーク接続が正常である。
 - ・ Internet Explorer8.0 以降がインストールされている。
3. 信頼済みサイトとして、接続する IP アドレスを追加しておきます。

13-2. ログイン

パソコン上で操作するには、ログイン操作が必要です。

録画装置のデフォルトの IP アドレスが 192.168.0.30 で、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。DHCP サーバーがネットワークで使用される場合、カメラの IP アドレスを動的に割り当てることができますが、ログインするための正しい IP アドレスを確認する必要があります。

1. パソコンから Web ブラウザ (Internet Explorer) を開き、アドレスバーに IP アドレス (デフォルトは 192.168.0.30) を入力し、Enter キーを押します。
2. 最初にログインする場合、プラグインのインストールを要求が表示されたら、プラグインをインストールする必要があります。インストールが完了する、一旦 Web ブラウザを閉じる必要があります。
3. ログインダイアログボックスで、正しいユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。初期パスワードは、ユーザー名 : 「admin」、パスワード : 「123456」を入力します。



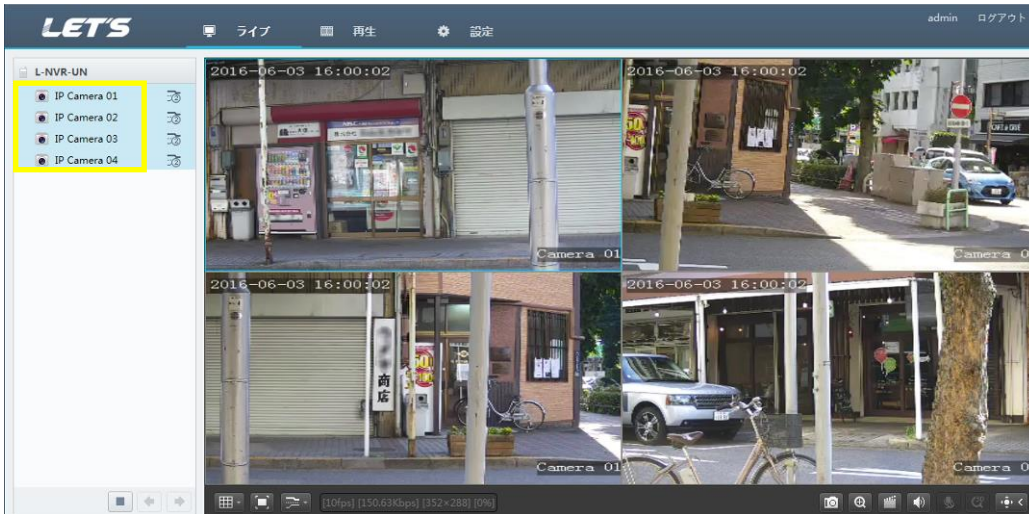
【ご注意】

- ・ Web ブラウザでログインするユーザー名とパスワードは、録画装置で直接ログインする場合のユーザー名とパスワードと同じです。

13-3. ライブページ

ログインすると、ライブページが表示されます。

左上側の各カメラのアイコンをクリックすると、ライブ映像が表示されます。



次表に、ライブページの操作ボタンを説明します。

ボタン	説明	ボタン	説明
	接続されているカメラ		①メインストリーム/ ②サブストリーム
	全ウインドウでのライブ映像の開始/停止		前の画面/次の画面
	画面レイアウトの切替え		全画面表示
	ストリームタイプの選択		フレームレート/ビットレート /解像度/パケットロスレート
	スナップショットの撮影		ズーム開始
	ローカル録画		音量のオン/オフ、音量の調整
	マイク音量の調整		3D ポジショニング
	コントロールパネル(イメージ調整)を開く/閉じる	—	—

【メモ】

- スナップショットは、次の形式で名前が付けられます。(IP アドレス_カメラ ID_時間)
(時刻: YYYYMMDDHHMSSMS) 例: 192.168.0.30_D1_20160611102123239.jpg
- スナップショットは、デフォルトは、次のディレクトリに保存されます。
C:\Users\¥username¥Surveillance¥Snap¥system date (system date: YYYYMMDD 形式)
- ローカル録画は、次の形式で名前が付けられます。
(IP アドレス_カメラ ID_S 録画開始時間_E 録画終了時間) (時刻: YYYYMMDD 形式)
- ローカル録画は、デフォルトは、次のディレクトリに保存されます。
C:\Users\¥username¥Surveillance¥Record¥system date (system date: YYYYMMDD 形式)

13-4. 再生ページ

[再生]タブをクリックすると、録画装置に保存されている映像を再生することができます。画面左上の録画装置とカメラを選択し、日付・時間を選択後、▶ ボタンをクリックします。

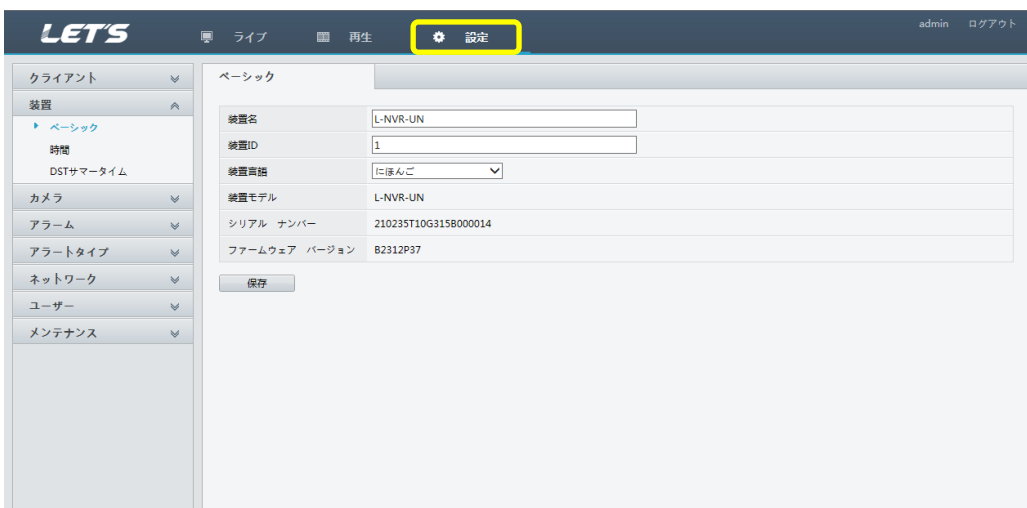


次表に、再生ページの操作ボタンを説明します。

ボタン	明	ボタン	説明
	再生/ポーズ/停止		1コマ戻る/1コマ送る
	再生速度を遅くする/ 速くする		30秒巻戻す/30秒送る
	前の録画/次の録画		ビデオクリップを開始/ 停止
	ビデオクリップを保存		スナップショットを撮る
	ズーム		音量の調整/消音

13-5. 設定ページ


設定を行うには、[設定]タブをクリックし、左側のメニューをクリックして、各パラメータを設定できます。

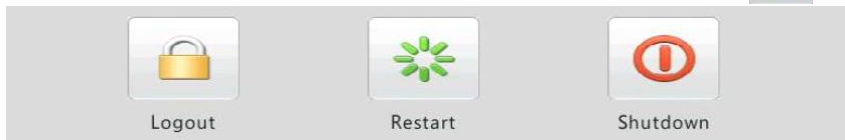



14. シャットダウン

録画装置をログアウト、再起動、またはシャットダウンすることができます。

録画装置を適切にシャットダウンすることで、録画装置の寿命を伸ばすことができますので、使用しない時は、シャットダウンすることをお勧めします

1. [メニュー] > [閉鎖]をクリックします。
2. 下図のボタンをクリックします。(シャットダウンの場合、 ボタンを押します。)



3. [システム]ウインドウが表示されます。[Yes]をクリックすると、シャットダウンを行います。
4. 録画装置の  ランプ（青色）が消えていることを確認してから、電源アダプタを抜きます。

15. 仕様

本書に記載されている仕様または機能は、技術改善などにより予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■ネットワーク IR ミニカメラ

カメラ		ビデオストリーミング	3重
センサー	1/2.8インチ、2メガピクセル、 プログレッシブスキャン、CMOS	ROI (Region Of Interest)	対応
		OSD	日付時刻、カメラ名を表示
レンズ	12.0mm@F1.8	動体検出	最大2エリア
画角(H)	27°	プライバシーマスク	最大4エリア
シャッター	オート/マニュアル、1/6~1/8000s	ネットワーク	
最低被写体照度	カラー : 0.02Lux (F1.8、AGC ON) モノクロ : 0Lux (IR ON)	プロトコル	L2TP、IPv4、IGMP、ICMP、ARP、TCP、UDP、DHCP、 PPPoE、RTP、RTSP、DNS、DDNS、NTP、FTP、UPnP、 HTTP、HTTPS、SMTP、SNMP、SIP、QoS
デイ/ナイト	IRカットフィルター(自動スイッチ)		
IR範囲	最大30m	互換性(規格)	ONVIF、API
S/N	>52dB	端子	
WDR	デジタル	ネットワーク	RJ45 10M/100M Base-TX イーサネット
ノイズ減少	2D/3D	その他	
ビデオ		電源	12 VDC あるいは PoE (IEEE802.3af)
最大解像度	1920×1080	消費電力	最大6.4 W
ビデオ圧縮	H.264/MJPEG	動作温度/湿度	-35°C~+60°C/約95%RH(結露しないこと)
フレームレート	1080P (1920×1080) : 最大30fps	保護等級	IP66
	720P (1280×720) : 最大30fps	外形寸法	157.3mm×62.4mm×63mm
	D1 (720×576) : 最大25fps	重量	0.45 kg

■録画装置

ビデオとオーディオ		ハードディスク	
IP ビデオ入力	4ch	インターフェイス	SATA端子
オーディオ入力	RCA×1	容量	500GB (最大6TBまで)
ネットワーク		外部端子	
着信帯域幅	32Mbps	ネットワーク端子	RJ-45 10M / 100M適応
送信帯域幅	64Mbps		イーサネットインターフェイス
リモート接続	16	USB端子	USB2.0×1、USB3.0×1
ビデオ/オーディオ出力		PoE	
HDMI/VGA 出力	HDMI/VGA : 1920*1080p/60Hz、1920*1080p/50Hz、 1600*1200/60Hz、1280*1024/60Hz、 1280*720/60Hz、1024*768/60Hz	端子	10/100 Mbps PoE ×4 イーサネットインターフェイス
		標準サポート	IEEE802.3at
		その他	
録画解像度	6MP@25、4MP@30、3MP@30、 1080P@30、720P@30	電源	48VDC/1.25A
		消費電力	約8W (HDDを含まず)
オーディオ出力	RCA×1	動作温度/湿度	-10~+55°C/10~90%
同期再生	4ch	外形寸法	(W)205mm×(H)205mm×(D)41.8mm
デコード		重量	約1.21 kg (HDDを含まず)
ライブビュー/再生	6MP@25、4MP@30、3MP@30、 1080P@30、720P@30	連続録画時間 (HDD:500GB)	約69時間 (4CH、1080P、60fps、4Mbps VBR)
性能	1080P@25×4ch、4MP@25×2ch、 4MP@30×1ch、6MP@25×1ch		

お問合せ先

本装置についてのお問い合わせは、販売店もしくは弊社までお願いいたします。

株式会社 **レッツ** コーポレーション

■本社

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目6-10 レッツ丸の内本社1号館ビル

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL: 052-201-6230 FAX: 052-201-5050

■サービス

TEL: 052-209-7860 FAX: 052-201-5050

■東京営業所

〒104-0061

東京都中央区銀座八丁目19-3 銀座竹葉亭ビル6F

TEL: 03-3546-0889 FAX: 03-3546-0941

■大阪営業所

〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9 新大阪ハイロードビル5F

TEL: 06-6151-5749

■URL <http://www.lets-co.co.jp/>